

令和7年度決算 普通会計財政状況

令和8年9月



安芸高田市 企画部 財政課

決 算 の 状 況

令和7年度の決算では、経常収支比率が92.4%となり、前年度から0.5ポイント改善した。人事院勧告に伴う給与改定により人件費が増加したものの、普通交付税や地方消費税交付金の増額に伴い、経常一般財源が歳出を上回る増加となったことが主な要因と考えられる。

財政調整基金の現在高は令和7年度に12億円を超える額まで回復したところである。しかしながら、令和8年度の当初予算では財政調整基金を取り崩して財源不足に対処しており、当初予算での取り崩しは5年連続となっている。

今後も、人件費並びに物価高騰による物件費の増加、吉田地区認定こども園の整備や中学校統合等の大型建設事業など、予算編成は予断を許さない状況にある。持続可能な財政運営のためには、DXの推進による行政事務の効率化や公共施設の配置適正化、市のコンパクト化など、人口減少に対応した行財政改革が急務である。

目 次

普通会計決算財政状況	1
普通会計歳入決算	2
普通会計歳入決算(グラフ)	3
普通会計性質別歳出決算	4
普通会計性質別歳出決算(グラフ)	5
普通会計目的別歳出決算	6
普通会計目的別歳出決算(グラフ)	7
普通会計財政指標等の推移	8
普通交付税決算（基準財政需要額及び基準財政収入額）	10
基金の状況（見込）調	11
基金残高の推移（見込）	12
会計別地方債現在高調書	13
普通会計地方債別現在高及び借入先別現在高	14

資料編

(1) 令和7年度会計別決算総括表	16
(2) 令和7年度会計別決算額	18
(3) 令和7年度一般会計歳入歳出決算額	19
(4) 令和7年度一般会計歳出節別決算額	20
令和7年度市町村普通会計決算カード	21
類似市等の普通会計財政状況（令和7年度決算数値）	25
主な財政用語	26

普通会計決算財政状況

(単位:千円)

区 分	2年度 決算	3年度 決算	4年度 決算	5年度 決算	6年度 決算	7年度 決算	前年度 比較
歳入総額	23,809,979	23,027,430	21,371,425	21,432,473	20,412,530	20,481,541	69,011
歳出総額	22,993,800	21,792,642	20,438,072	20,803,166	19,892,783	19,810,527	△ 82,256
差引額	816,179	1,234,788	933,353	629,307	519,747	671,014	151,267
翌年度繰越財源	283,119	305,754	204,056	105,434	61,527	93,420	31,893
実質収支	533,060	929,034	729,297	523,873	458,220	577,594	119,374
単年度収支	281,162	395,974	△ 199,737	△ 205,424	△ 65,653	119,374	185,027
財政調整基金 積立金	712	413	122	133	1,451	4,473	3,022
繰上償還 (任意分)	0	0	11,081	0	0	0	0
財政調整基金 取崩額	355,521	229,000	254,404	227,266	254,917	120,452	△ 134,465
実質単年度収支	△ 73,647	167,387	△ 442,938	△ 432,557	△ 319,119	3,395	322,514
基準財政需要額 (錯誤分を除く)	11,170,256	11,448,991	11,149,439	11,200,490	11,210,255	11,499,362	289,107
基準財政収入額	3,652,288	3,591,078	3,735,754	3,780,928	3,833,730	3,874,072	40,342
標準財政規模	12,490,514	12,828,308	12,206,023	12,223,693	12,214,123	12,491,566	277,443
臨時財政対策債 発行可能額	397,872	482,470	124,919	58,815	28,118	0	△ 28,118
財政力指数	0.317	0.317	0.325	0.329	0.338	0.339	0.001
実質収支比率	4.3%	7.2%	6.0%	4.3%	3.8%	4.6%	0.8%

※実質収支比率:実質収支/標準財政規模

※標準財政規模:標準税収入額+普通交付税+臨時財政対策債発行可能額

(単位:千円)

区 分	2年度 決算	3年度 決算	4年度 決算	5年度 決算	6年度 決算	7年度 決算	前年度 比較
經常収支比率	92.8%	88.6%	94.4%	92.1%	92.9%	92.4%	△ 0.5%
実質公債費比率	12.9%	12.3%	11.6%	10.9%	10.0%	9.1%	△ 0.9%
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
将来負担比率	94.7%	83.9%	74.5%	62.9%	55.1%	52.4%	△ 2.7%
資金不足比率	-	-	-	-	-	-	-
積立金現在高	6,678,174	6,866,837	7,098,690	7,504,515	7,337,372	7,227,182	△ 110,190
うち 財政調整基金	603,644	675,057	920,775	1,093,642	1,140,176	1,254,197	114,021
うち 減債基金	311,174	443,582	443,881	500,767	544,637	516,946	△ 27,691
普通建設事業費	1,540,096	1,907,388	1,195,527	1,534,188	1,339,595	1,532,466	192,871
地方債現在高	23,800,065	22,992,944	21,409,859	20,137,742	18,552,078	17,244,756	△ 1,307,322
地方債残高比率	190.5%	179.2%	175.4%	164.7%	151.9%	138.1%	△13.8%
地方債借入額	1,295,000	2,020,800	1,137,800	1,237,000	777,000	1,069,000	292,000
地方債 元利償還金	2,957,205	2,934,646	2,805,201	2,585,204	2,437,874	2,452,857	14,983
翌年度以降 債務負担額	1,435,216	2,239,879	1,949,579	2,560,335	2,510,274	2,332,273	△ 178,001

普通会計とは、地方財政状況調査(決算統計)において、統計上の比較を可能とするために用いられる会計区分で、「一般会計」と「公営事業会計を除く特別会計」を整理したものである。
本市における普通会計とは、「一般会計」と「コミュニティ・プラント整備事業特別会計」を整理したものである。

普通会計歳入決算

(単位:千円、%)

区 分	令和6年度		令和7年度		前年度比較		主な増減理由等
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率	
地 方 税	3,579,751	17.5	3,695,233	18.0	115,482	3.2	
個人市民税	1,021,621	5.0	1,143,516	5.6	121,895	11.9	所得割 +122,194千円、個人(滞納繰越分) △300千円
法人市民税	208,616	1.0	217,289	1.1	8,673	4.2	法人税割 +9,826千円、法人均等割 △1,283千円
固定資産税	2,008,026	9.8	1,994,643	9.7	△ 13,383	△ 0.7	償却資産 △23,147千円、家屋 +7,795千円、固定資産税(滞納繰越分) +1,774千円
軽自動車税	132,935	0.7	135,865	0.7	2,930	2.2	種別割(現年課税分) +1,991千円、環境性能割 +1,079千円
たばこ税	201,547	1.0	196,957	1.0	△ 4,590	△ 2.3	たばこの売上減による
入湯税	7,006	0.0	6,963	0.0	△ 43	△ 0.6	利用者の減による
地方譲与税	258,406	1.3	263,208	1.3	4,802	1.9	自動車重量譲与税 +4,121千円、森林環境譲与税 +3,280千円、地方揮発油譲与税 △2,599千円
利子割交付金	1,709	0.0	5,865	0.0	4,156	243.2	
配当割交付金	25,033	0.1	24,805	0.1	△ 228	△ 0.9	
株式等譲渡所得割交付金	32,291	0.2	35,938	0.2	3,647	11.3	
地方消費税交付金	709,982	3.5	767,189	3.7	57,207	8.1	
ゴルフ場利用税交付金	21,591	0.1	15,573	0.1	△ 6,018	△ 27.9	
環境性能割交付金	36,352	0.2	28,011	0.1	△ 8,341	△ 22.9	
法人事業税交付金	87,080	0.4	81,024	0.4	△ 6,056	△ 7.0	
地方特例交付金	133,116	0.7	23,663	0.1	△ 109,453	△ 82.2	定額減税減収補てん特例交付金 △105,176千円、住宅借入金等特別税額控除減収補てん特例交付金 △2,318千円
地方交付税	8,208,981	40.2	8,482,028	41.4	273,047	3.3	
普通交付税	7,376,525	36.1	7,634,126	37.3	257,601	3.5	
特別交付税	832,456	4.1	847,902	4.1	15,446	1.9	
小 計	13,094,292	64.2	13,422,537	65.5	328,245	2.5	
交通安全対策特別交付金	2,220	0.0	2,444	0.0	224	10.1	
分担金及び負担金	138,872	0.7	155,186	0.8	16,314	11.7	携帯電話等エリア整備事業分担金 +7,270千円、広域入所運営費他市町村負担金 +6,607千円
使 用 料	217,314	1.1	198,068	1.0	△ 19,246	△ 8.9	し尿施設使用料 △7,859千円、市有住宅使用料 △7,746千円、市営住宅使用料(現年度分) △7,378千円
手 数 料	85,935	0.4	81,286	0.4	△ 4,649	△ 5.4	し尿処理手数料(現年度分) △3,623千円、戸籍手数料 △736千円、し尿処理手数料(滞納繰越分) △332千円
国庫支出金	2,558,519	12.5	2,307,893	11.3	△ 250,626	△ 9.8	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 △421,199千円、児童手当費負担金+99,843千円、物価高対応子育て応援手当支給補助金 +60,373千円
都道府県支出金	1,600,957	7.8	1,679,553	8.2	78,596	4.9	広島県公立学校情報機器整備事業費補助金 +66,183千円、県委託金道路橋梁費委託金 △33,291千円、農業用施設災害復旧費補助金 △28,150千円、国民健康保険基盤安定負担金 +27,766千円
財産収入	76,766	0.4	77,316	0.4	550	0.7	基金利子 +17,724千円、不動産売払収入 △16,513千円、財産貸付収入 △2,619千円
寄 附 金	163,795	0.8	108,264	0.5	△ 55,531	△ 33.9	ふるさと納税制度寄附金 △58,021千円、指定寄附金 +6,000千円、企業版ふるさと納税 △1,800千円
繰 入 金	1,042,041	5.1	797,537	3.9	△ 244,504	△ 23.5	ふるさと応援基金繰入金 △176,100千円、財政調整基金繰入金 △134,465千円、地域福祉基金繰入金 +50,130千円
繰 越 金	329,307	1.6	289,747	1.4	△ 39,560	△ 12.0	
諸 収 入	325,512	1.6	292,710	1.4	△ 32,802	△ 10.1	デジタル基盤改革支援補助金 △81,191千円、地域の持続可能性の確保に向けた郵便局の利活用推進事業補助金 +19,418千円、消防団員退職報償金 +12,328千円、適正化事業交付金 +7,200千円
地 方 債	777,000	3.8	1,069,000	5.2	292,000	37.6	消防債 +268,200千円、土木災害債 △123,300千円、教育債 +74,500千円、民生債 +56,900千円
合 計	20,412,530	100.0	20,481,541	100.0	69,011	0.3	
うち経常一般財源	12,275,904	60.1	12,593,131	61.5	317,227	2.6	
(臨財債含み)	(12,304,004)	60.3	(12,593,131)	61.5	(289,127)	2.4	←経常収支比率算定の方母となる数値。

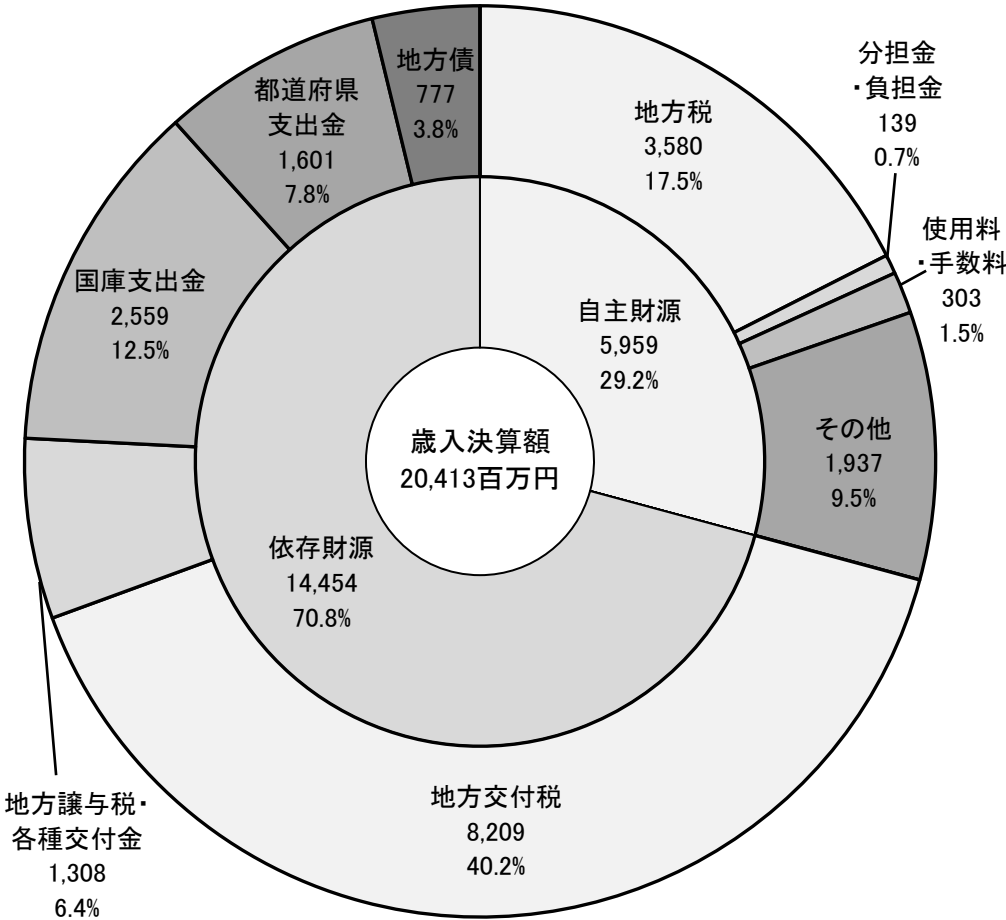
※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とにならない場合がある。

普通会計歳入決算(グラフ)

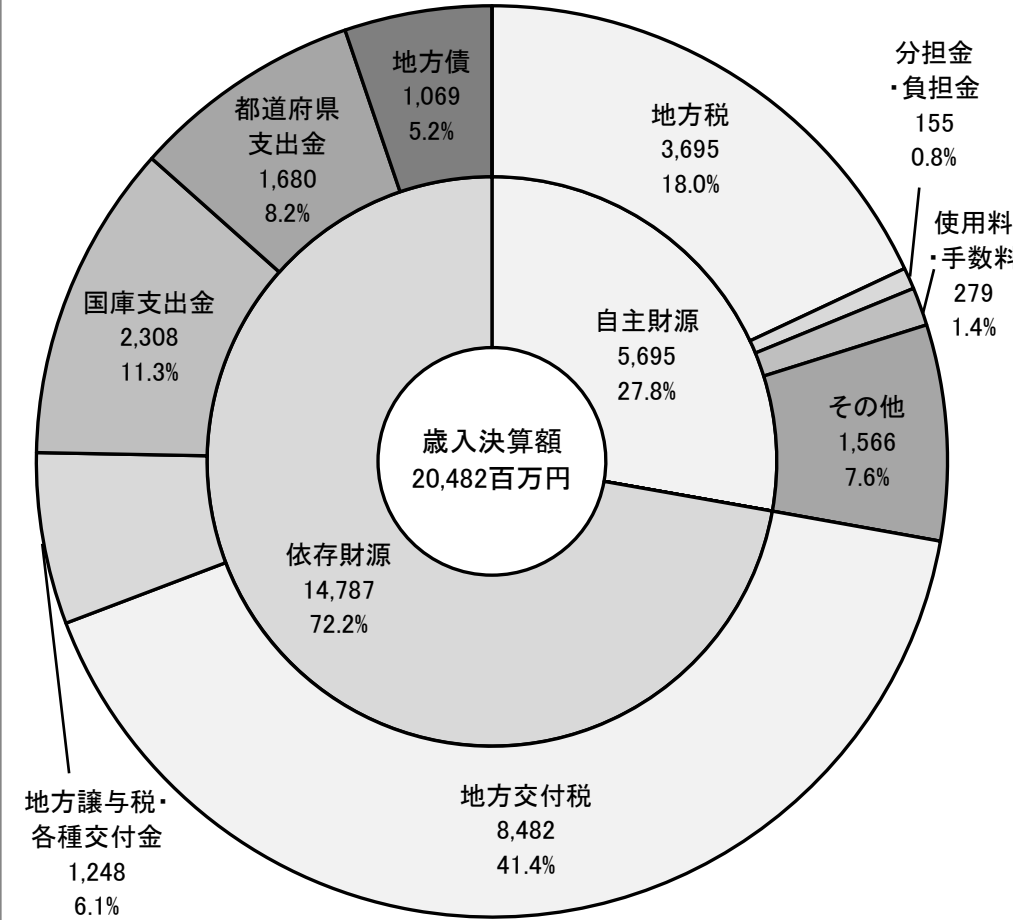
(単位:百万円、%)

(単位:百万円、%)

令和6年度決算



令和7年度決算



普通会計性質別歳出決算

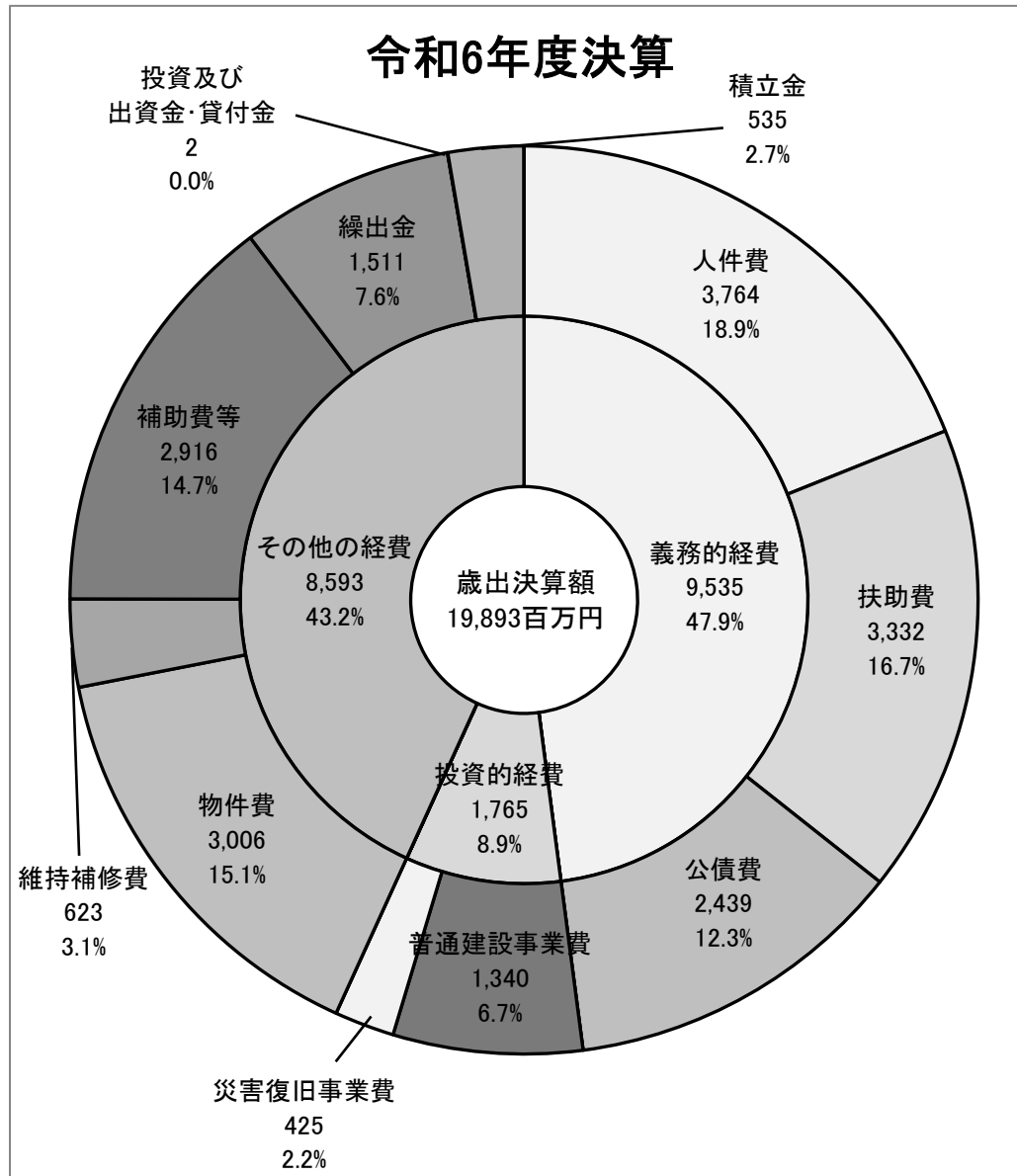
(単位:千円、%)

区 分	令和6年度				令和7年度				前年度比較				主な増減理由等
	決算額	構成比	うち経常一般財源充当額	経常収支比率	決算額	構成比	うち経常一般財源充当額	経常収支比率	決算額	増減率	経常一般財源充当額	経常収支比率	
義務的経費	9,534,949	47.9	6,548,790	53.2	9,531,438	48.1	6,708,688	53.3	△ 3,511	△ 0.0	159,898	0.1	
人件費	3,764,242	18.9	3,278,971	26.6	3,971,911	20.0	3,464,489	27.5	207,669	5.5	185,518	0.9	一般職員人件費 +122,360千円、会計年度任用職員(報酬) +41,315千円
うち職員給	2,242,786	11.3	1,959,706	15.9	2,334,846	11.8	2,076,862	16.5	92,060	4.1	117,156	0.6	総務一般管理費 +39,756千円、常備消防費 +35,043千円、戸籍住民基本台帳費 +12,070千円
扶助費	3,332,013	16.7	838,744	6.8	3,104,470	15.7	792,024	6.3	△ 227,543	△ 6.8	△ 46,720	△ 0.5	価格高騰重点支援給付事業費 △329,400千円、児童手当給付事業費 +92,690千円、物価高対応子育て応援手当支給事業費 +57,980千円
公債費	2,438,694	12.3	2,431,075	19.8	2,455,057	12.4	2,452,175	19.5	16,363	0.7	21,100	△ 0.3	元金 +13,658千円、利子 +2,703千円
元利償還金	2,437,874	12.3	2,430,255	19.8	2,452,857	12.4	2,449,975	19.5	14,983	0.6	19,720	△ 0.3	
一時借入金	820	0.0	820	0.0	2,200	0.0	2,200	0.0	1,380	168.3	1,380	0.0	
その他の経費	8,593,334	43.2	4,884,298	39.7	8,586,955	43.4	4,932,319	39.3	△ 6,379	△ 0.1	48,021	△ 0.4	
物件費	3,005,951	15.1	1,987,271	16.1	3,246,848	16.4	2,071,954	16.5	240,897	8.0	84,683	0.4	情報教育推進基盤整備事業費 +98,837千円、放課後児童クラブ運営費 +45,348千円、電算システム事業費 +30,149千円
維持補修費	622,792	3.1	425,415	3.5	613,811	3.1	373,710	3.0	△ 8,981	△ 1.4	△ 51,705	△ 0.5	道路維持費県委託県道道路維持費 △24,506千円、光ネットワーク管理運営費 △5,485千円、道路維持費市道道路維持費 △4,276千円
補助費等	2,916,050	14.7	1,240,775	10.1	2,763,819	14.0	1,221,024	9.7	△ 152,231	△ 5.2	△ 19,751	△ 0.4	下水道事業会計事業費 △167,333千円、価格高騰重点支援給付事業費 +47,681千円、畜産振興事業費 △44,787千円
繰出金	1,510,775	7.6	1,230,837	10.0	1,535,580	7.8	1,265,631	10.1	24,805	1.6	34,794	0.1	後期高齢者医療事業費 +34,385千円、後期高齢者医療特別会計繰出金 △5,391千円、介護保険特別会計繰出金 △5,266千円
投資及び出資金・貸付金	2,508	0.0	0	0.0	2,832	0.0	0	0.0	324	12.9	0	0.0	就学援助事業費 +324千円
積立金	535,258	2.7	0	0.0	424,065	2.1	0	0.0	△ 111,193	△ 20.8	0	0.0	ふるさと応援基金 △63,668千円、減債基金 △31,902千円、過疎地域持続的発展基金 △13,917千円
経常収支比率			11,433,088	92.9			11,641,007	92.4			207,919	△ 0.5	
投資的経費	1,764,500	8.9			1,692,134	8.5			△ 72,366	△ 4.1			
うち人件費	657	0.0			642	0.0			△ 15	△ 2.3			給料 △15千円
うち普通建設事業費	1,339,595	6.7	投資的経費の内一般財源充当額 235,930		1,532,466	7.7	投資的経費の内一般財源充当額 223,133		192,871	14.4	投資的経費の内一般財源充当額 △ 12,797		
うち補助事業	491,841	2.5			565,084	2.9			73,243	14.9			地域情報化推進事業費 +65,028千円、体育施設維持管理費 +62,805千円
うち単独事業	783,485	3.9			861,895	4.4			78,410	10.0			指令施設管理費 +225,621千円、電算システム事業費 △197,522千円、中学校施設・設備等管理整備事業費 △39,840千円
うち災害復旧事業費	424,905	2.2			159,668	0.8			△ 265,237	△ 62.4			土木施設災害復旧費 △222,074千円、農業用施設災害復旧費 △41,078千円
合 計	19,892,783	100.0			19,810,527	100.0			△ 82,256	△ 0.4			

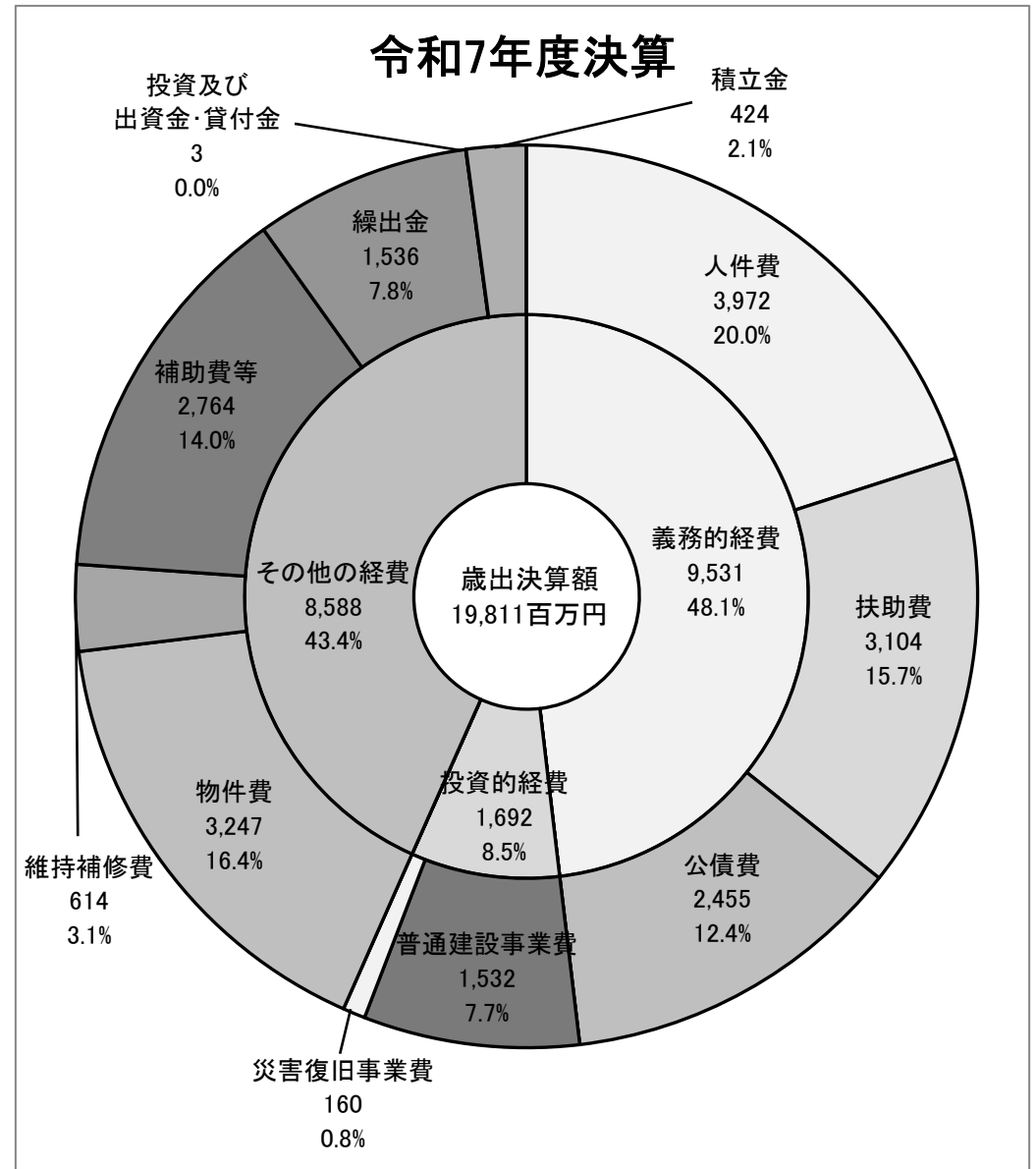
※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とならない場合がある。(経常収支比率も同様に費目別に比率を算出しているので合計と合致しない場合がある。)

普通会計性質別歳出決算(グラフ)

(単位:百万円、%)



(単位:百万円、%)



普通会計目的別歳出決算

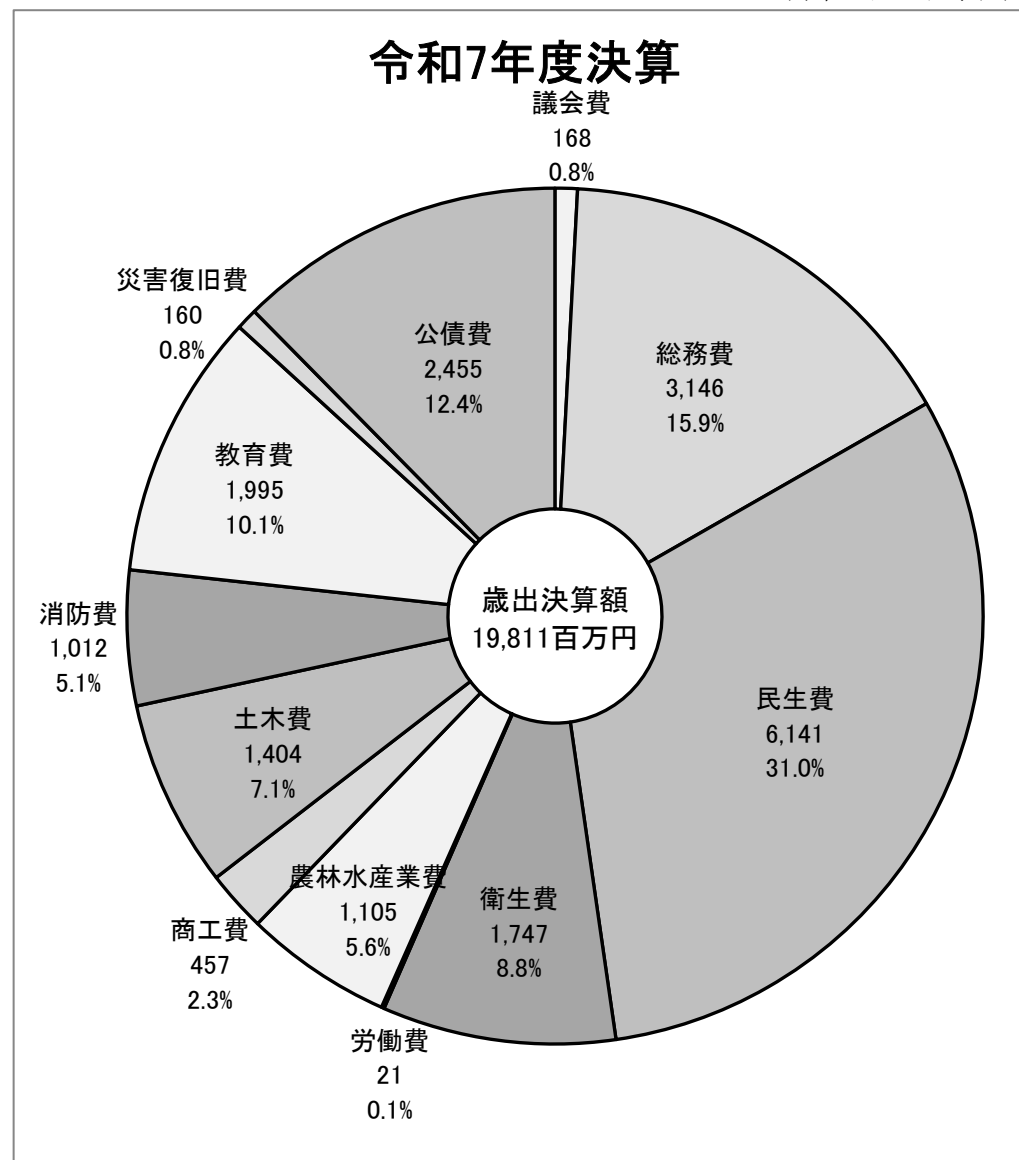
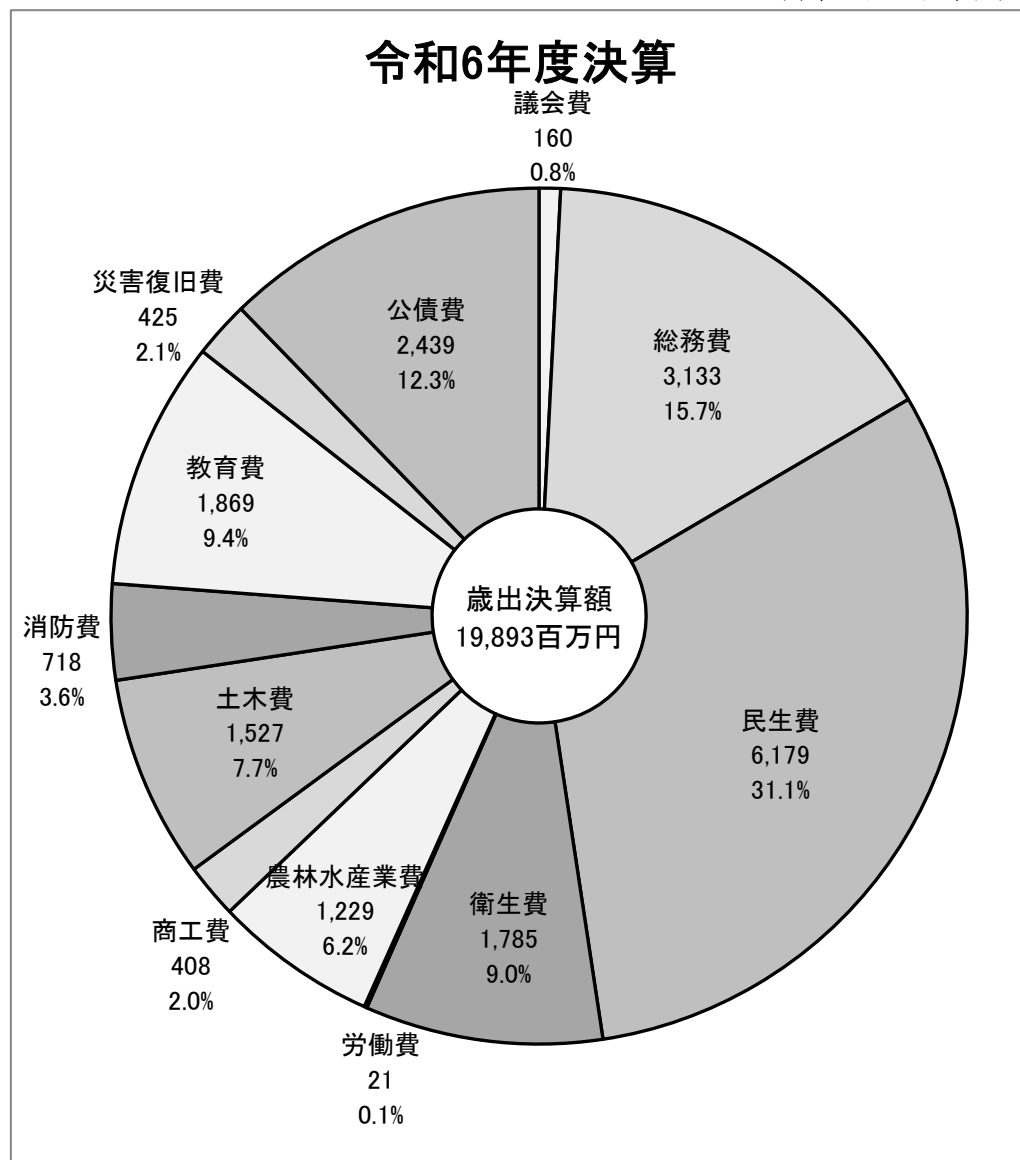
区 分	令和6年度			令和7年度			前年度比較		摘 要（主な増減理由等）
	決算額	構成比	うち一般財源 充当額	決算額	構成比	うち一般財源 充当額	決算額	増減率	
	千円	%	千円	千円	%	千円	千円	%	
議会費	159,624	0.8	159,622	167,721	0.8	167,692	8,097	5.1	議会運営事業費 +2,675千円、議員人件費 +2,227千円、議会調査事業費 +1,867千円
総務費	3,132,755	15.7	2,252,130	3,145,613	15.9	2,296,485	12,858	0.4	電算システム事業費 △165,220千円、地域情報化推進事業費 +84,742千円、ふるさと応援基金 △63,668千円
民生費	6,178,778	31.1	3,557,734	6,141,022	31.0	3,277,369	△ 37,756	△ 0.6	価格高騰重点支援給付事業費 △288,871千円、児童手当給付事業費 +89,839千円、保育所総務管理費 +83,689千円
衛生費	1,784,807	9.0	1,465,038	1,747,010	8.8	1,469,453	△ 37,797	△ 2.1	保健衛生総務管理費 +40,599千円、下水道事業会計事業費 △33,883千円、予防接種事業費 △24,362千円
労働費	21,279	0.1	21,279	21,279	0.1	21,279	0	0.0	
農林水産業費	1,229,435	6.2	837,862	1,105,091	5.6	704,388	△ 124,344	△ 10.1	下水道事業会計事業費 △69,417千円、畜産振興事業費 △44,831千円、小規模崩壊地復旧事業費 △20,713千円
商工費	408,030	2.0	329,661	456,678	2.3	369,392	48,648	11.9	外郭団体等運営指導事業費 +28,178千円、商工業振興施設管理運営費 +17,923千円、観光振興事業費 +7,698千円
土木費	1,526,725	7.7	928,732	1,404,078	7.1	792,967	△ 122,647	△ 8.0	道路維持費市道道路維持費 △65,726千円、下水道事業会計事業費 △64,033千円、橋梁維持費 +49,641千円
消防費	718,606	3.6	627,561	1,012,052	5.1	650,554	293,446	40.8	指令施設管理費 +233,613千円、常備消防費一般職員人件費 +44,724千円、消防施設管理費 +21,485千円
教育費	1,869,145	9.4	1,355,489	1,995,258	10.1	1,365,970	126,113	6.7	情報教育推進基盤整備事業費 +96,832千円、体育施設維持管理費 +78,070千円、中学校施設・設備等管理整備事業費 △38,975千円
災害復旧費	424,905	2.1	15,644	159,668	0.8	11,628	△ 265,237	△ 62.4	土木施設災害復旧費 △222,074千円、農業用施設災害復旧費 △41,078千円
公債費	2,438,694	12.3	2,431,075	2,455,057	12.4	2,452,175	16,363	0.7	元金 +13,658千円、利子 +2,703千円
合 計	19,892,783	100.0	13,981,827	19,810,527	100.0	13,579,352	△ 82,256	△ 0.4	

※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とならない場合がある。

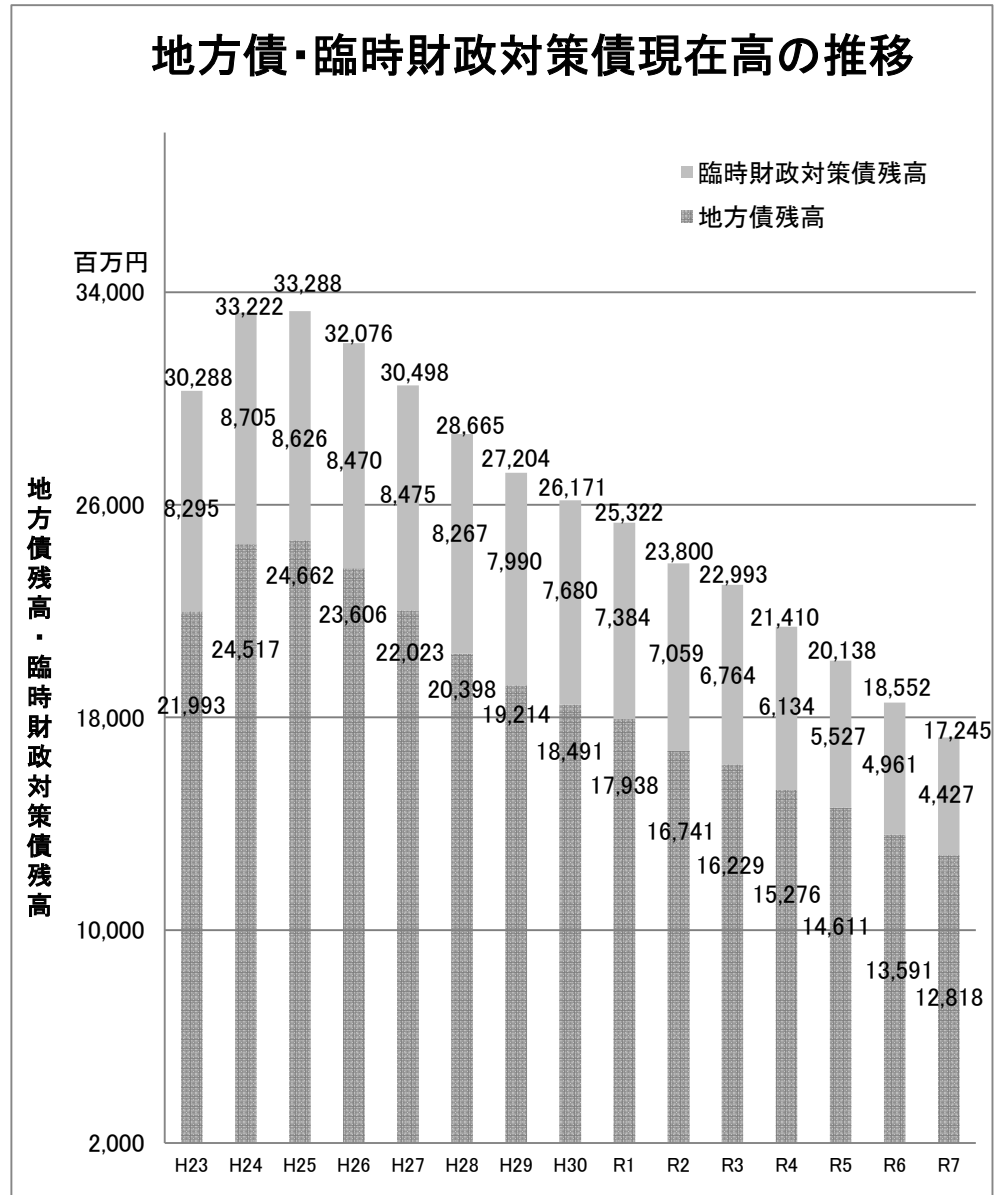
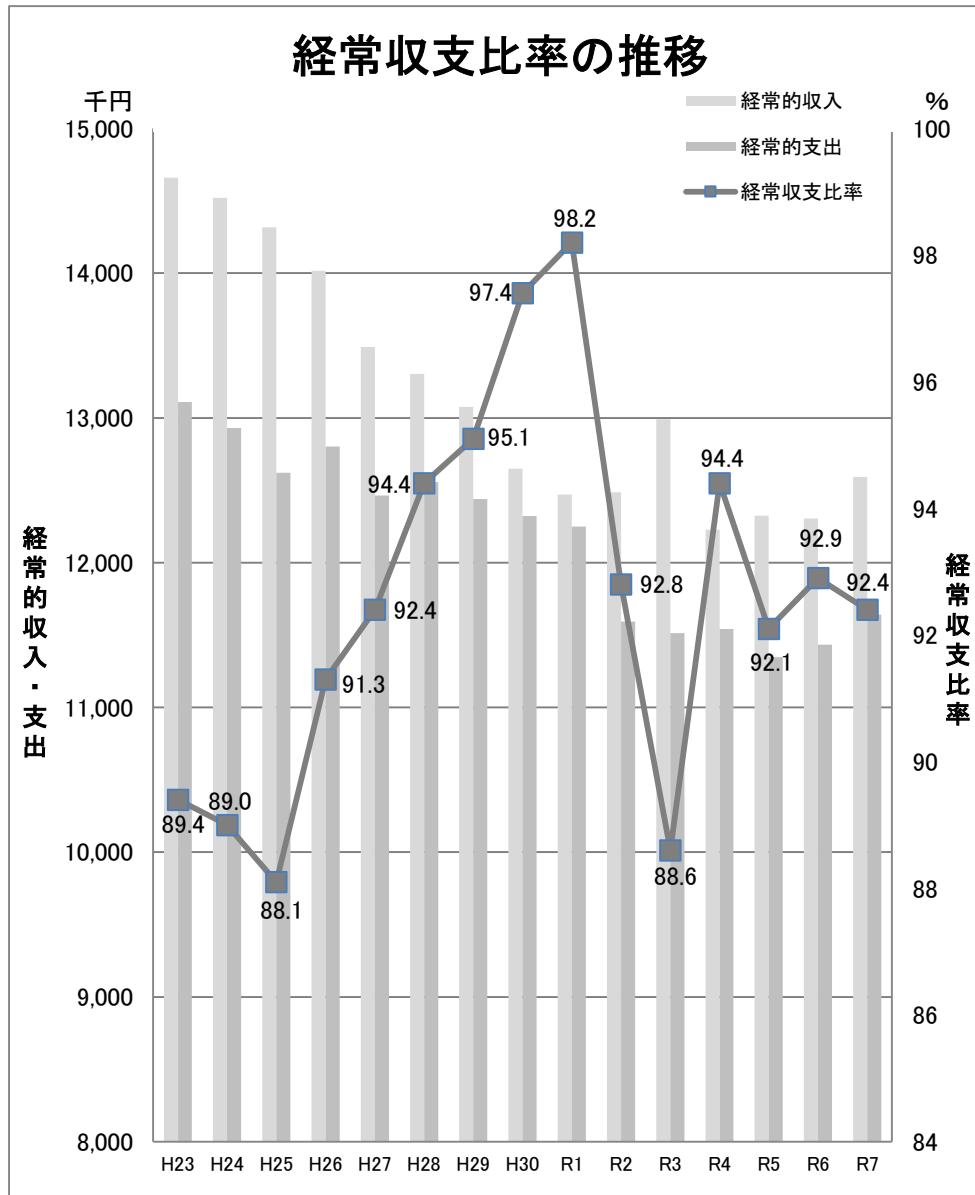
普通会計目的別歳出決算(グラフ)

(単位:百万円、%)

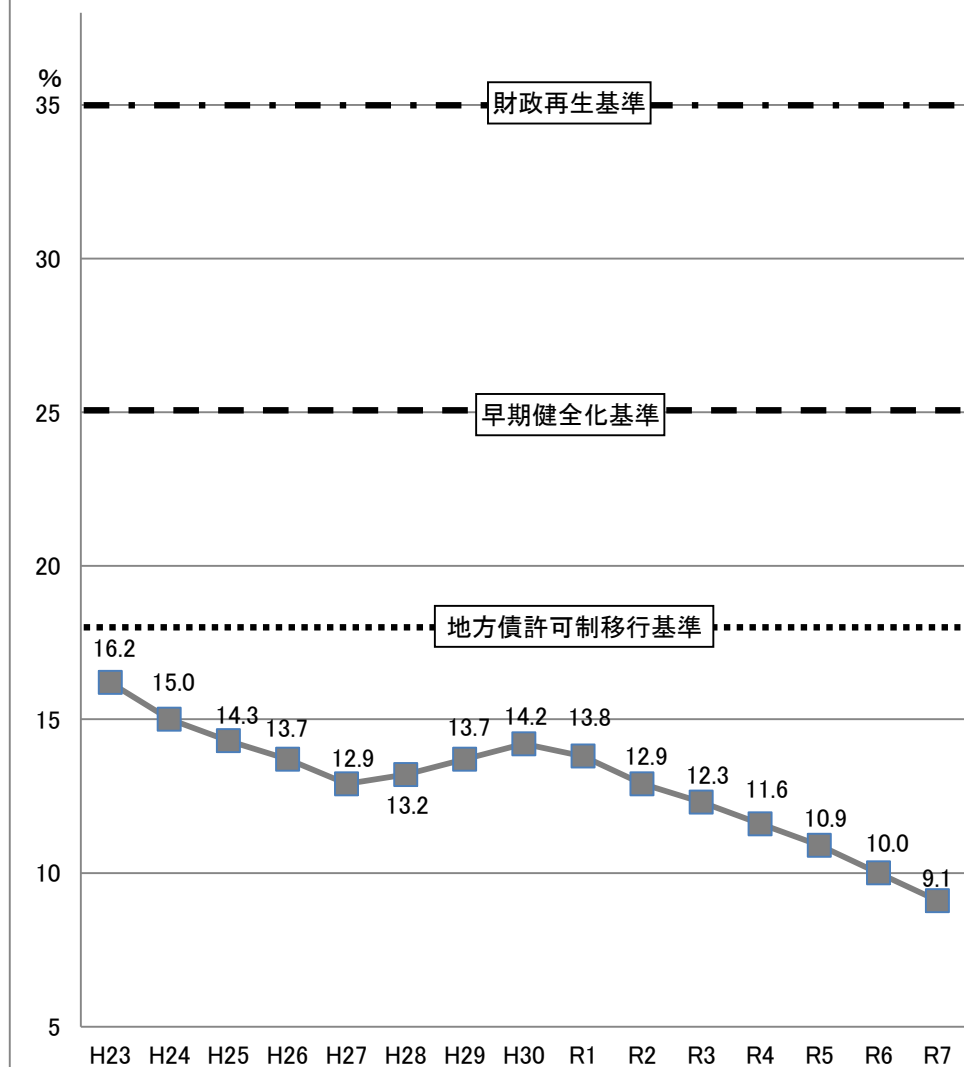
(単位:百万円、%)



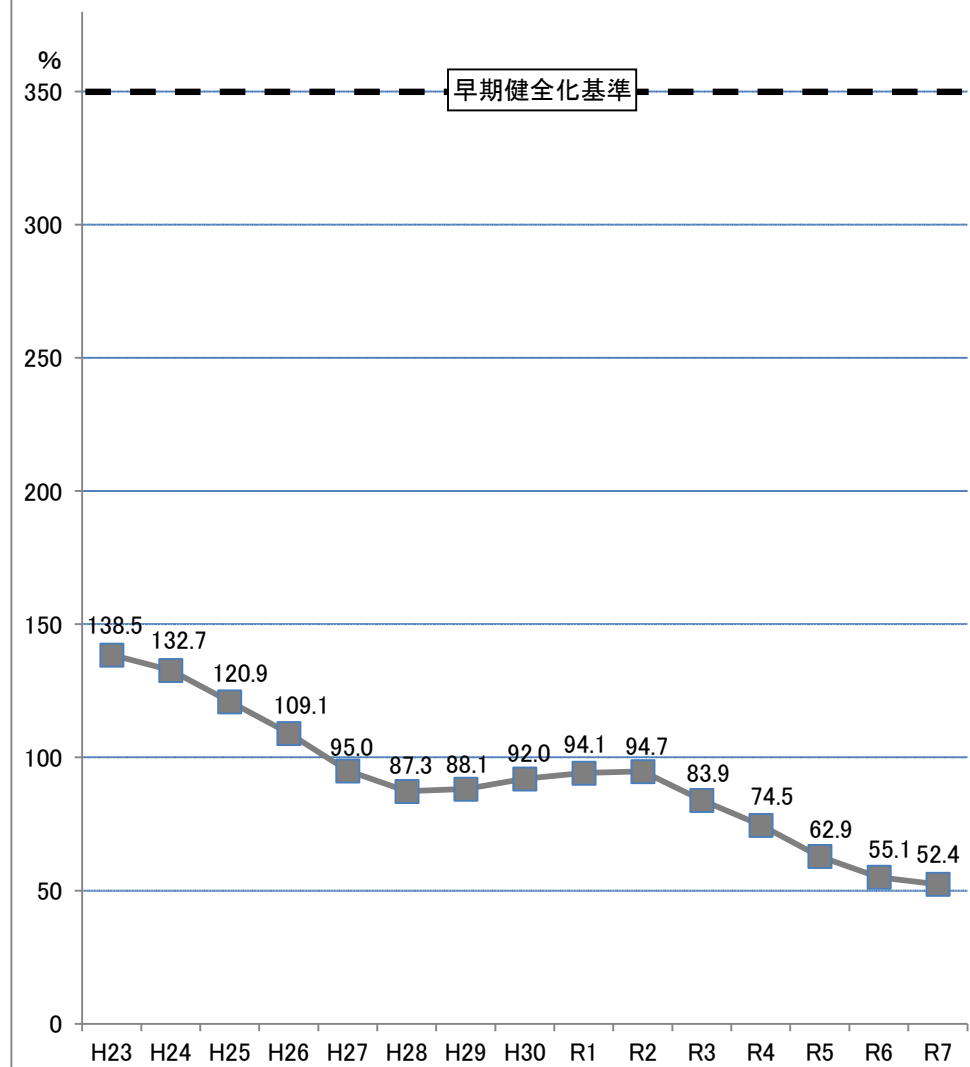
普通会計財政指標等の推移



実質公債費比率の推移



将来負担比率の推移

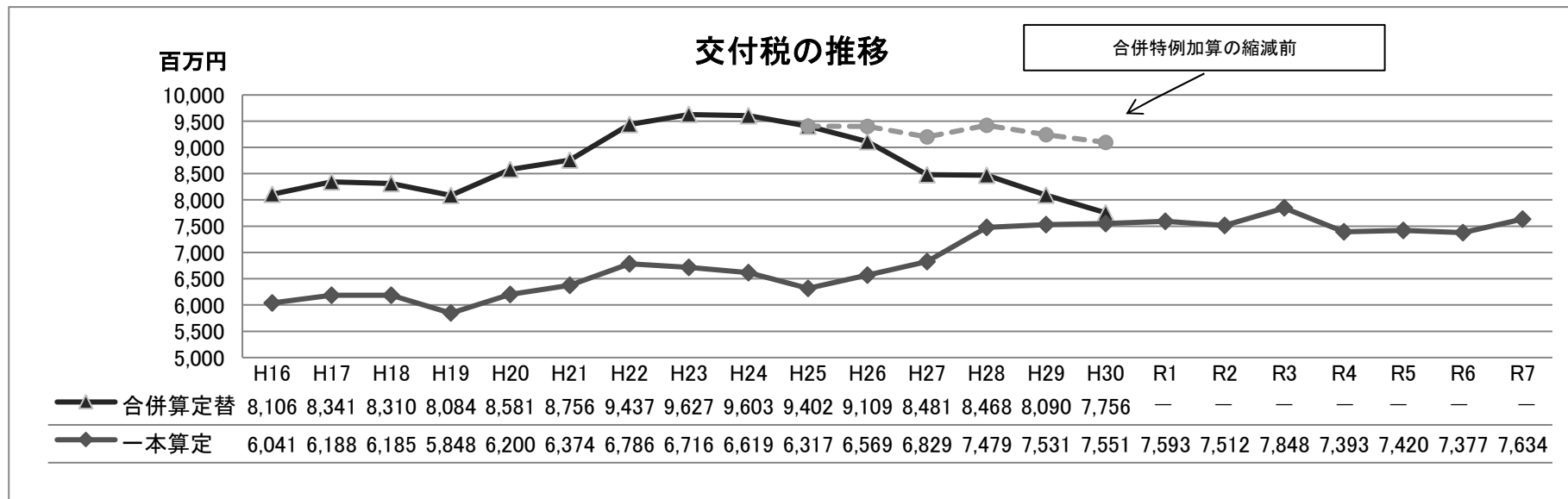


普通交付税決算(基準財政需要額及び基準財政収入額)

(単位:千円)

区 分	合 併 算 定 替				一本算定						前年度比較
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
個別算定(A)	8,796,727	8,597,928	8,624,745	7,996,101	8,228,308	8,628,373	8,120,333	8,136,914	8,163,889	8,364,456	200,567
包括算定(B)	2,072,774	2,009,846	1,919,180	1,014,825	1,051,559	1,067,138	1,007,280	1,041,407	1,067,988	1,137,111	69,123
公債費 (C)	2,417,386	2,577,479	2,524,959	2,512,007	2,288,261	2,235,950	2,146,745	2,080,984	2,006,496	1,997,795	△ 8,701
臨時財政対策債 振替相当額(D)	543,679	547,906	521,595	433,270	397,872	482,470	124,919	58,815	28,118		△ 28,118
基準財政需要額(ア) =(A+B+C-D)	12,743,208	12,637,347	12,547,289	11,089,663	11,170,256	11,448,991	11,149,439	11,200,490	11,210,255	11,499,362	289,107
基準財政収入額(イ)	3,388,420	3,402,614	3,453,439	3,445,067	3,652,288	3,591,078	3,735,754	3,780,928	3,833,730	3,874,072	40,342
錯誤措置額(ウ)	64,642	4,670		△ 42,130		△ 9,651	△ 20,708			8,836	8,836
交付基準額 (エ) =(ア) - (イ) + (ウ)	9,419,430	9,239,403	9,093,850	7,602,466	7,517,968	7,848,262	7,848,262	7,419,562	7,376,525	7,634,126	257,601
調整額 (オ)	△ 9,760	△ 9,074		△ 9,719	△ 5,707						
合併特例加算の縮減額 (カ)	△ 941,283	△ 1,140,208	△ 1,337,566								
交付額 =(エ) + (オ) + (カ)	8,468,387	8,090,121	7,756,284	7,592,747	7,512,261	7,848,262	7,848,262	7,419,562	7,376,525	7,634,126	257,601

※平成30年度まで合併特例加算措置があり、合併算定替により算定される。一本算定は合併特例加算がない場合の算定額。
 ※調整額とは、普通交付税の予算総額が財源不足団体の財源不足総額に満たない場合に、財源不足総額を予算総額に合わせるために用いるもの。
 財源不足総額から普通交付税の予算総額を差し引いた調整額を、財源不足団体の基準財政需要額の総額で割って算出する。



基金の状況(見込)調

(単位:千円)

基 金 名		元年度末 現在高	2年度末 現在高	3年度末 現在高	4年度末 現在高	5年度末 現在高	6年度末 現在高	6年度歳計 剰余金積立	令和7年度 積立・取崩額			令和7年度末 現在高
									元金積立	利子積立	基金取崩	
一 般 会 計 所 管	財政調整基金	828,453	603,644	675,057	920,775	1,093,642	1,140,176	230,000		4,473	120,452	1,254,197
	減債基金	310,932	311,174	443,582	443,881	500,767	544,637		38,496	1,765	67,952	516,946
	小 計	1,139,385	914,818	1,118,639	1,364,656	1,594,409	1,684,813	230,000	38,496	6,238	188,404	1,771,143
	地域福祉基金	427,316	424,616	422,200	422,200	377,441	329,793			1,069	98,242	232,620
	ふるさと水と土の保全基金	19,500	19,516	19,529	19,542	19,555	19,568			95		19,663
	地域振興基金	3,306,636	3,260,446	3,131,117	2,937,725	2,867,494	2,850,492			8,035	69,522	2,789,005
	サッカー公園管理運営基金	115,789	120,878	125,960	131,045	77,976	83,027		5,000	401		88,428
	美土里町神楽門前湯治村育成基金	4,402	5,717	7,514	9,791	12,106	14,301		2,015	69		16,385
	たかみや湯の森管理基金	92,011	95,409	53,296	57,541	62,507	67,366		4,948	326		72,640
	消防施設整備基金	32,973	31,805	31,827	62,848	93,891	124,952		31,000	604		156,556
	清流園施設改修基金	53,848	53,889	53,926	53,962	20,287						
	ふるさと応援基金	294,160	268,178	355,926	387,710	514,297	326,435		90,856	1,057	167,343	251,005
	市有住宅管理運営基金	292,138	302,541	339,430	380,003	397,355	418,237		10,570	2,023		430,830
	農業後継者育成支援基金	28,696	28,237	28,256	28,275	28,294	28,312			137		28,449
	過疎地域持続的発展基金	894,696	857,247	875,589	919,827	930,416	816,323		144,300	2,644	229,604	733,663
	定住対策支援基金	22,849	20,957	18,696	16,959	16,446	15,756			76	350	15,482
	光ネットワーク設備管理運営基金	174,639	170,575	165,584	165,696	156,181	156,283			756		157,039
	公共施設管理運営基金	15,601	18,914	22,027	17,566	196,067	199,024		2,990	962		202,976
	JR三江線代替交通確保運営基金	59,392	57,043	57,082	45,121	36,462	27,885			135	8,790	19,230
	森林環境譲与税基金	6,705	26,388	39,238	60,721	97,355	152,974		54,439	740		208,153
	まち・ひと・しごと創生基金		1,000	1,001	17,502	4,513	18,116		13,300	88	2,000	29,504
	学校教育施設整備基金					1,463	3,715		679	18		4,411
	小 計	5,841,351	5,763,356	5,748,198	5,734,034	5,908,643	5,652,559		360,097	19,235	575,851	5,456,039
	一般会計所管基金合計	6,980,736	6,678,174	6,866,837	7,098,690	7,503,052	7,337,372	230,000	398,593	25,473	764,255	7,227,182
特 別 会 計 所 管	国民健康保険財政調整基金	717,134	703,876	700,572	705,907	673,281	618,236			2,989	33,907	587,318
	介護給付費準備基金	112,534	112,621	133,863	253,954	334,126	384,343		50,000	1,859		436,202
	農業集落排水財政調整基金	336	336	336	337							
	小型合併処理浄化槽管理運営基金	3,603	3,606	3,608	3,610							
	下水道事業減債基金	13,941	13,952	13,961	13,970							
基 金 合 計		7,828,284	7,512,565	7,719,177	8,076,468	8,510,459	8,339,951	230,000	448,593	30,321	798,162	8,250,702

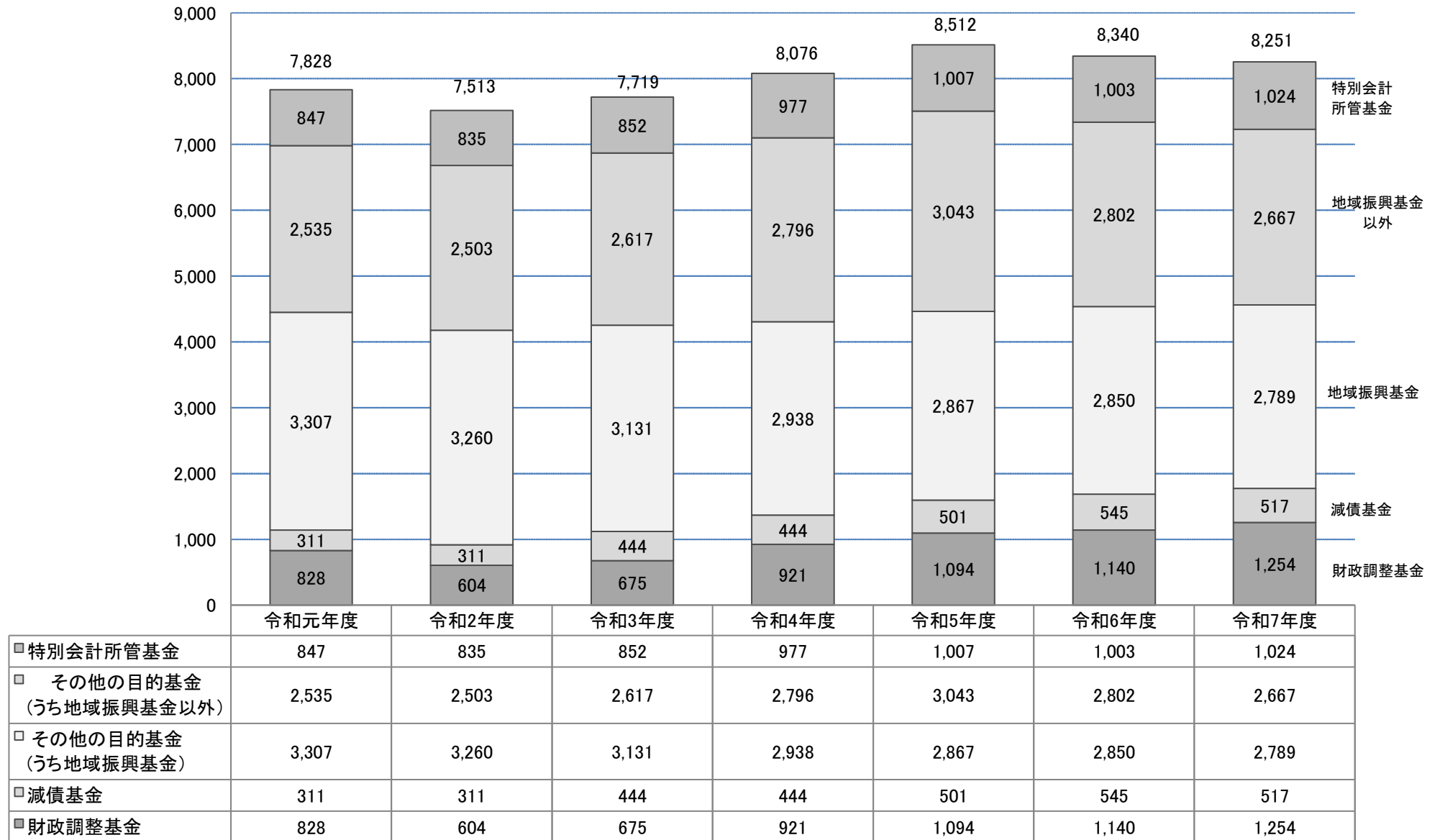
注 年度末の基金残高は、当該年度の出納整理期間中の増減を含んでいるため、決算書の数値とずれが生じる場合がある。

決算書では3月末の数値を計上するが、取崩し、積立については所管会計の当該年度の収支を伴うため、本表では年度末(出納整理期間中の増減を加味)の数値を計上している。

表中の基金合計は決算統計数値としているため、各基金の合計と一致しない。

残高(百万円)

基金残高の推移(見込)



会計別地方債現在高調書

(単位:千円)

会 計 名		令和3年度 末 残 高	令和4年度 末 残 高	令和5年度 末 残 高	令和6年度 末 残 高	令和7年度				令和7年度 末 残 高	前年度 増減比較	摘 要
						繰越起債	現年起債	起債発行額計	元金償還額			
						b	c	d=b+c	e	f=a+d-e	f-a	
	一 般 会 計 (通常債分)	22,992,944	21,409,859	20,137,742	18,552,078	144,900	924,100	1,069,000	2,376,322	17,244,756	△ 1,307,322	普通会計
	一 般 会 計 (特別会計過疎債分)	774,330	669,905	603,537	532,791	0	57,700	57,700	104,693	485,798	△ 46,993	普通会計 対象外
	一般会計	23,767,274	22,079,764	20,741,279	19,084,869	144,900	981,800	1,126,700	2,481,015	17,730,554	△ 1,354,315	
	農業集落排水事業特別会計	1,748,755	1,628,885	1,496,952	令和5年度末までは特別会計。 令和6年度から下水道事業に統合。							
	浄化槽整備事業特別会計	378,679	389,495	395,800								
	特別会計合計	2,127,434	2,018,380	1,892,752								
	一般会計・特別会計 合計	25,894,708	24,098,144	22,634,031	19,084,869	144,900	981,800	1,126,700	2,481,015	17,730,554	△ 1,354,315	
	上記の内 普通会計分	22,992,944	21,409,859	20,137,742	18,552,078	144,900	924,100	1,069,000	2,376,322	17,244,756	△ 1,307,322	
※決算統計上、一般会計のうち特別会計及び下水道事業に係る過疎債は普通会計に計上されない。												
地方公営企業法適用事業												
	下水道事業	3,453,241	3,224,518	3,018,861	4,721,334	0	387,900	387,900	579,333	4,529,901	△ 191,433	地方公営企業法 一部適用会計
	水道事業	3,893,040	3,704,141	令和4年度末までは地方公営企業法適用会計。 広島県と14の市町で広島県水道広域連合企業団を設立し、令和5年4月1日から水道事業を統合。								

普通会計地方債別現在高及び借入先別現在高

(単位:千円、%)

事業債区分	令和6年度末 現在高	令和7年度末 現在高	構成比	増減額
公共事業等債	134,113	155,290	0.9	21,177
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	0	128,300	0.7	128,300
公営住宅建設事業債	25,790	15,542	0.1	△ 10,248
災害復旧事業債	1,573,447	1,465,369	8.5	△ 108,078
教育・福祉施設等整備事業債	120,016	102,089	0.6	△ 17,927
一般単独事業債	5,427,166	4,853,929	28.1	△ 573,237
うち合併特例事業債	(4,747,931)	(3,893,577)	(22.6)	(△ 854,354)
辺地対策事業債	0	12,300	0.1	12,300
過疎対策事業債	5,913,146	5,702,931	33.1	△ 210,215
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	181,959	164,300	1.0	△ 17,659
財源対策債	1,409	1,211	0.0	△ 198
減収補てん債	27,302	25,603	0.1	△ 1,699
減税補てん債	5,143	1,900	0.0	△ 3,243
臨時財政対策債	4,960,766	4,426,730	25.7	△ 534,036
都道府県貸付金	8,400	7,991	0.0	△ 409
その他	173,421	181,271	1.1	7,850
計	18,552,078	17,244,756	100.0	△ 1,307,322

※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とにならない場合がある。

※事業債区分「国の予算貸付・政府関係機関貸付債」は公有林整備事業債。

(単位:千円、%)

資金区分	令和7年度末 現在高	構成比
財政融資資金	8,081,314	46.9
旧郵政公社資金	20,322	0.1
地方公共団体金融機構資金	2,373,597	13.8
国の予算貸付・政府関係機関貸付	164,300	1.0
市中銀行	3,217,032	18.7
その他の金融機関	2,256,852	13.1
共済等	1,123,348	6.5
その他(県貸付金)	7,991	0.0
計	17,244,756	100.0

※構成比は単純比較のため、合計が必ずしも100とにならない場合がある。

※資金区分「国の予算貸付・政府関係機関貸付」は日本政策金融公庫。

《参考》 特別会計等に係る過疎債

(単位:千円)

事業債区分	令和6年度末	令和7年度末	増減額
過疎対策事業債	532,791	485,798	△ 46,993

※決算統計上、一般会計のうち特別会計及び下水道事業に係る過疎債は普通会計に計上されない。

(決算統計上、償還費は繰出金扱い。ただし、下水道事業は補助費等扱い。)

資 料 編

(1) 令和7年度会計別決算総括表

(単位:円)

会 計 名 称		当初予算額 a	補正予算額 b	前年度繰越明許費等 c	予算現額 d
一 般 会 計		19,698,000,000	1,113,324,000	433,728,000	21,245,052,000
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2,986,820,000	△ 62,927,000		2,923,893,000
	後期高齢者医療特別会計	596,858,000	4,808,000		601,666,000
	介護保険特別会計	4,355,008,000	172,063,000		4,527,071,000
	コミュニティ・プラント整備事業特別会計	5,063,000	△ 97,000		4,966,000
	特別会計 合計	7,943,749,000	113,847,000	0	8,057,596,000
一般会計・特別会計 合計		27,641,749,000	1,227,171,000	433,728,000	29,302,648,000

(単位:円)

会 計 名 称		歳入決算額 g	歳出決算額 h	形式収支 i=g-h	繰越財源 j
一 般 会 計		20,543,462,145	19,872,474,636	670,987,509	93,420,000
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2,840,590,495	2,786,372,112	54,218,383	
	後期高齢者医療特別会計	610,445,728	595,947,824	14,497,904	
	介護保険特別会計	4,477,946,332	4,309,192,642	168,753,690	
	コミュニティ・プラント整備事業特別会計	4,393,330	4,366,751	26,579	
	特別会計 合計	7,933,375,885	7,695,879,329	237,496,556	0
一般会計・特別会計 合計		28,476,838,030	27,568,353,965	908,484,065	93,420,000

(単位:円) 〔歳入歳出決算額と予算現額の比較〕

(単位:円)

予算現額のうち翌年度繰越明許費等 e	予算現額から翌年度繰越明許費を控除した額 f=d-e	歳入決算額-予算現額=g-d	予算現額に対する歳入率	予算現額-歳出決算額=d-h	予算現額に対する執行率
785,899,000	20,459,153,000	△ 701,589,855	96.7%	1,372,577,364	93.5%
	2,923,893,000	△ 83,302,505	97.2%	137,520,888	95.3%
	601,666,000	8,779,728	101.5%	5,718,176	99.0%
	4,527,071,000	△ 49,124,668	98.9%	217,878,358	95.2%
	4,966,000	△ 572,670	88.5%	599,249	87.9%
0	8,057,596,000	△ 124,220,115	98.5%	361,716,671	95.5%
785,899,000	28,516,749,000	△ 825,809,970	97.2%	1,734,294,035	94.1%

(単位:円) 〔予算現額から翌年度繰越特定財源を除いた歳入歳出決算比較〕

実質収支 k=i-j	歳計剰余金 積立 l	純繰越金 m=k-l	歳入決算額-翌年度繰越特定財源を除いた予算現額=g-(f+j)	繰越特財を除いた予算現額に対する歳入率	翌年度繰越を除いた予算額-歳出決算額=f-h	翌年度繰越を除いた予算額に対する執行率
577,567,509	300,000,000	277,567,509	△ 9,110,855	100.0%	586,678,364	97.1%
54,218,383		54,218,383	△ 83,302,505	97.2%	137,520,888	95.3%
14,497,904		14,497,904	8,779,728	101.5%	5,718,176	99.0%
168,753,690		168,753,690	△ 49,124,668	98.9%	217,878,358	95.2%
26,579		26,579	△ 572,670	88.5%	599,249	87.9%
237,496,556	0	237,496,556	△ 124,220,115	98.5%	361,716,671	95.5%
815,064,065	300,000,000	515,064,065	△ 133,330,970	99.5%	948,395,035	96.7%

(2) 令和7年度会計別決算額

(単位:円)

令和6年度	区 分		歳 入		歳 出		実質収支	
	一 般 会 計		20,461,516,027		19,941,781,142		458,207,885	
	特別会計	国民健康保険特別会計	2,809,554,793		2,768,150,703		41,404,090	
		後期高齢者医療特別会計	568,992,360		555,749,577		13,242,783	
		介護保険特別会計	4,578,287,265		4,355,959,484		222,327,781	
		コミュニティ・プラント整備事業特別会計	4,190,895		4,179,244		11,651	
	特別会計 合計		7,961,025,313		7,684,039,008		276,986,305	
	一般会計・特別会計 合計		28,422,541,340		27,625,820,150		735,194,190	
令和7年度	区 分		歳 入		歳 出		実質収支	
	一 般 会 計		20,543,462,145		19,872,474,636		577,567,509	
	特別会計	国民健康保険特別会計	2,840,590,495		2,786,372,112		54,218,383	
		後期高齢者医療特別会計	610,445,728		595,947,824		14,497,904	
		介護保険特別会計	4,477,946,332		4,309,192,642		168,753,690	
		コミュニティ・プラント整備事業特別会計	4,393,330		4,366,751		26,579	
	特別会計 合計		7,933,375,885		7,695,879,329		237,496,556	
	一般会計・特別会計 合計		28,476,838,030		27,568,353,965		815,064,065	
前年度比較	区 分		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
	一 般 会 計		81,946,118	0.4%	△ 69,306,506	△0.3%	119,359,624	26.0%
	特別会計	国民健康保険特別会計	31,035,702	1.1%	18,221,409	0.7%	12,814,293	30.9%
		後期高齢者医療特別会計	41,453,368	7.3%	40,198,247	7.2%	1,255,121	9.5%
		介護保険特別会計	△ 100,340,933	△2.2%	△ 46,766,842	△1.1%	△ 53,574,091	△24.1%
		コミュニティ・プラント整備事業特別会計	202,435	4.8%	187,507	4.5%	14,928	128.1%
	特別会計 合計		△ 27,649,428	△0.3%	11,840,321	0.2%	△ 39,489,749	△14.3%
	一般会計・特別会計 合計		54,296,690	0.2%	△ 57,466,185	△0.2%	79,869,875	10.9%

(3) 令和7年度一般会計歳入歳出決算額

〔歳入〕

(単位:円)

款名称	令和6年度	令和7年度	比 較	増減率
1 市税	3,579,750,873	3,695,232,789	115,481,916	3.2%
2 地方譲与税	258,406,000	263,208,000	4,802,000	1.9%
3 利子割交付金	1,709,000	5,865,000	4,156,000	243.2%
4 配当割交付金	25,033,000	24,805,000	△ 228,000	△0.9%
5 株式等譲渡所得割交付金	32,291,000	35,938,000	3,647,000	11.3%
6 法人事業税交付金	87,080,000	81,024,000	△ 6,056,000	△7.0%
7 地方消費税交付金	709,982,000	767,189,000	57,207,000	8.1%
8 ゴルフ場利用税交付金	21,591,200	15,573,451	△ 6,017,749	△27.9%
9 環境性能割交付金	36,352,000	28,011,000	△ 8,341,000	△22.9%
10 地方特例交付金	133,116,000	23,663,000	△ 109,453,000	△82.2%
11 地方交付税	8,208,981,000	8,482,028,000	273,047,000	3.3%
12 交通安全対策特別交付金	2,220,000	2,444,000	224,000	10.1%
13 分担金及び負担金	162,224,891	179,232,106	17,007,215	10.5%
14 使用料及び手数料	284,039,000	260,170,088	△ 23,868,912	△8.4%
15 国庫支出金	2,680,130,351	2,396,572,053	△ 283,558,298	△10.6%
16 県支出金	1,599,928,318	1,650,241,897	50,313,579	3.1%
17 財産収入	76,765,677	77,315,686	550,009	0.7%
18 寄附金	163,794,875	108,263,898	△ 55,530,977	△33.9%
19 繰入金	1,042,062,509	797,549,514	△ 244,512,995	△23.5%
20 繰越金	329,286,614	289,734,885	△ 39,551,729	△12.0%
21 諸収入	204,171,719	232,700,778	28,529,059	14.0%
22 市債	822,600,000	1,126,700,000	304,100,000	37.0%
歳 入 合 計	20,461,516,027	20,543,462,145	81,946,118	0.4%

〔歳出〕

(単位:円)

款名称	令和6年度	令和7年度	比 較	増減率
1 議会費	160,194,726	168,057,052	7,862,326	4.9%
2 総務費	3,406,095,707	3,439,856,096	33,760,389	1.0%
3 民生費	6,175,557,038	6,131,087,474	△ 44,469,564	△0.7%
4 衛生費	1,528,001,737	1,525,547,919	△ 2,453,818	△0.2%
5 労働費	0	0	0	—
6 農林水産業費	900,119,688	845,845,478	△ 54,274,210	△6.0%
7 商工費	260,514,916	280,676,597	20,161,681	7.7%
8 土木費	1,965,382,572	1,772,093,161	△ 193,289,411	△9.8%
9 消防費	694,619,830	990,058,447	295,438,617	42.5%
10 教育費	1,870,343,464	1,998,841,345	128,497,881	6.9%
11 災害復旧費	424,905,200	159,667,800	△ 265,237,400	△62.4%
12 公債費	2,556,046,264	2,560,743,267	4,697,003	0.2%
歳 出 合 計	19,941,781,142	19,872,474,636	△ 69,306,506	△0.3%

(4) 令和7年度一般会計歳出節別決算額

(単位:円)

節名称	令和6年度	令和7年度	比 較	増減率
1 報酬	506,552,331	559,822,563	53,270,232	10.5%
2 給料	1,431,880,298	1,472,201,226	40,320,928	2.8%
3 職員手当等	1,316,606,174	1,403,816,267	87,210,093	6.6%
4 共済費	547,091,299	586,103,148	39,011,849	7.1%
7 報償費	126,472,315	102,339,381	△ 24,132,934	△19.1%
8 旅費	30,275,379	30,253,420	△ 21,959	△0.1%
9 交際費	306,964	347,132	40,168	13.1%
10 需用費	636,049,719	596,320,251	△ 39,729,468	△6.2%
11 役務費	147,961,709	153,987,824	6,026,115	4.1%
12 委託料	3,571,132,243	3,387,806,018	△ 183,326,225	△5.1%
13 使用料及び賃借料	282,820,332	291,947,317	9,126,985	3.2%
14 工事請負費	1,208,455,362	1,340,717,016	132,261,654	10.9%
15 原材料費	14,935,900	8,902,764	△ 6,033,136	△40.4%
16 公有財産購入費	310,860	35,756,195	35,445,335	11402.3%
17 備品購入費	97,759,909	264,865,787	167,105,878	170.9%
18 負担金補助及び交付金	3,632,011,725	3,307,661,173	△ 324,350,552	△8.9%
19 扶助費	2,167,467,617	2,240,759,937	73,292,320	3.4%
20 貸付金	2,508,000	2,832,000	324,000	12.9%
21 補償補填及び賠償金	2,699,155	3,870,333	1,171,178	43.4%
22 償還金利子及び割引料	2,637,062,505	2,625,625,192	△ 11,437,313	△0.4%
24 積立金	535,257,998	424,065,297	△ 111,192,701	△20.8%
26 公課費	2,200,900	1,763,100	△ 437,800	△19.9%
27 繰出金	1,043,962,448	1,030,711,295	△ 13,251,153	△1.3%
合 計	19,941,781,142	19,872,474,636	△ 69,306,506	△0.3%

令和7年度市町村普通会計決算カード

市町村番号 13 コード'342149

市町村名					市町村類型		I -1		7 年 度 交 付 税		I -1					
安芸高田市					(7年度)				種 地 区 分							
人 口			面 積		人口密度		人口集中地区人口		産業構造（分類不能を除く）							
国 調	07年	24,755 人	(07.10.1)		(07年国調)		(02年国調)		区分		第1次		第2次		第3次	
	02年	26,448 人	537.71 km ²		46人		0 人		就 業 人 口	02年	1,421 人	3,590 人		8,217 人		
	27年	29,488 人	住民	08.1.1	25,401(1,162) 人			国調		10.7 %		27.1 %		62.1 %		
	07/02	△ 6.4 %	基本	07.1.1	26,041(1,130) 人					27年	2,025 人		4,196 人		8,421 人	
	02/27	△ 10.3 %		台帳	06.1.1	26,611(1,073) 人					国調	13.8 %		28.7 %		57.5 %
指定団体等の状況					事務の共同処理の状況（一部事務組合名等）											
不交付 農工導入 工―特					広島県市町総合事務組合											
低開発 過 疎 公―防					芸北広域環境施設組合											
辺地数（12） 山 村					広島県後期高齢者医療広域連合											
財政再建 離―島					広島県水道広域連合企業団											
一 般 職 員 等	区 分		令和7年度			令和6年度			増 減							
			職員数	給料月額	1人当たり	職員数	給料月額	1人当たり	職員数	給料月額	1人当たり					
			支給月額			支給月額			支給月額							
			A	B	C(B/A)	D	E	F(E/D)	A－D	B－E	C－F					
	一 般 職 員		人	千円	円	人	千円	円	人	千円	円					
	うち技能労務職		333	117,822	353,820	330	112,818	341,873	3	5,004	11,947					
	教 育 公 務 員		0	0	0	0	0	0	0	0	0					
教 育 公 務 員		5	2,157	431,400	7	2,858	408,286	△ 2	△ 701	23,114						
臨 時 職 員		0	0	0	0	0	0	0	0	0						
合 計		338	119,979	354,967	337	115,676	343,252	1	4,303	11,715						
職 員 数 及 び 年 齢	区 分	7年度	6年度	増減	区分	令和7年度 A			令和6年度 B			増減 A－B				
		A	B	A－B		平均年齢	60歳以上	64歳以上	平均年齢	60歳以上	64歳以上	平均年齢	60歳以上	64歳以上		
			人	人	人	64歳未満			64歳未満			64歳未満				
	職員数		338	337	1	歳		人	人	歳	人	人	歳	人	人	
	本 庁		225	232	△ 7	本 庁	42.5	6	0	41.8	9	0	0.7	－3	0	
	支所・出張所		82	71	11	支所・出張所	43.1	4	0	42.6	2	0	0.5	2	0	
	施 設		31	34	△ 3	施 設	49.5	1	0	49.3	1	0	0.2	0	0	
	合 計					合 計	43.3	11	0	42.6	12	0	0.7	－1	0	

※安芸高田市 平成16年3月1日合併（旧高田郡 吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町）

注 1) 住民基本台帳欄の（ ）書きは、外国人人口を記載。

2) 職員数、給料月額等の数値は、令和6年度は令和7年4月1日時点、令和5年度は令和6年4月1日時点のものである。

市町村名		安芸高田市		類型	I - 1								
区 分				令和7年度		令和6年度		増減率	区 分		令和7年度	令和6年度	
				千円		千円		%			千円	千円	
1 歳 入 総 額 A				20,481,541		20,412,530		0.3	基 準 財 政 需 要 額		11,499,362	11,210,255	
2 歳 出 総 額 B				19,810,527		19,892,783		△ 0.4	基 準 財 政 収 入 額		3,874,072	3,833,730	
3 歳入歳出差引額 C				671,014		519,747		29.1	標 準 財 政 規 模		12,491,566	12,214,123	
4 翌年度へ繰り越すべき財源 D				93,420		61,527		51.8	財 政 力 指 数		0.339	0.338	
5 実 質 収 支 (C-D) E				577,594		458,220		26.1	実 質 収 支 比 率		4.6 %	3.8 %	
6 単 年 度 収 支 F				119,374		△ 65,653		281.8	経 常 収 支 比 率 L/K		(92.4)	(93.1)	
7 積 立 金 G				4,473		1,451		208.3	注1		92.4 %	92.9 %	
8 地方債繰上償還額 H				0		0			公 債 費 負 担 比 率		17.2 %	16.8 %	
9 積立金取崩し額 I				120,452		254,917		△ 52.7	積 立 金 現 在 高		(1,771,143)	(1,684,813)	
10 実質単年度収支 J (F + G + H - I)				3,395		△ 319,119		101.1	注2		7,227,182	7,337,372	
									地 方 債 現 在 高		(14,535)	(19,403)	
実 質 赤 字 比 率				－		－			注3		17,244,756	18,552,078	
連 結 実 質 赤 字 比 率				－		－			収 益 事 業 収 入 額				
実 質 公 債 費 比 率				9.1%		10.0%			債 務 負 担 行 為 額		4,423,182	4,521,289	
将 来 負 担 比 率				52.4%		55.1%			翌年度以降支出予定額		2,332,273	2,510,274	
会 計 別 の 状 況													
普通会計分	会 計 名 純計前		令和7年度 A				令和6年度 B				増減 A-B		
			歳 入	歳 出	実 質 収支額	一般会計から の繰入額	歳 入	歳 出	実 質 収支額	一般会計から の繰入額	実 質 収支額	一般会計から の繰入額	
	安芸高田市 一 般 会 計		千円 20,543,462	千円 19,872,474	千円 577,568	千円 0	千円 20,461,516	千円 19,941,781	千円 458,208	千円 0	千円 119,360	千円 0	
	コミュニティ・プラント 整備事業特別会計		4,393	4,367	26	2,550	4,191	4,179	12	2,020	14	530	
公営事業会計分	事 業 名		令和7年度 A				令和6年度 B				増減 A-B		
			法適用		収支額	普通会計か らの繰入額	収支額	普通会計か らの繰入額	収支額	普通会計か らの繰入額			
			有	無									
	下水道事業(一部法適)		○		千円 244,105	千円 700,711	千円 202,054	千円 855,944	千円 42,051	千円 △ 155,233			
	国民健康保険事業			○	54,218	233,402	41,404	236,527	12,814	△ 3,125			
	後期高齢者医療事業			○	14,498	133,191	13,242	138,582	1,256	△ 5,391			
介護保険事業			○	168,753	661,568	222,328	666,834	△ 53,575	△ 5,266				

- 注 1) 経常収支比率欄の()書は、臨時財政対策債発行可能額を経常一般財源から除いた場合の数値を記載。
 2) 積立金現在高欄の()書きは、財政調整基金及び減債基金の残高を記載。
 3) 地方債現在高欄の()書きは、利率5%を超える地方債現在高を記載。

入 歳 入										安芸高田市						
区 分		令和7年度				令和6年度				増減率 A/B	備 考 決算増減額					
		決算額		経常一般財源		決算額		経常一般財源								
		A	構成比	K	構成比	B	構成比	K	構成比							
		千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	%						
地 方 税		3,695,233	18.0	3,695,233	29.3	3,579,751	17.5	3,579,751	29.2	3.2	115,482					
地 方 譲 与 税		263,208	1.3	263,208	2.1	258,406	1.3	258,406	2.1	1.9	4,802					
利 子 割 交 付 金		5,865	0.0	5,865	0.0	1,709	0.0	1,709	0.0	243.2	4,156					
配 当 割 交 付 金		24,805	0.1	24,805	0.2	25,033	0.1	25,033	0.2	△ 0.9	△ 228					
株式等譲渡所得割交付金		35,938	0.2	35,938	0.3	32,291	0.2	32,291	0.3	11.3	3,647					
地方消費税交付金		767,189	3.7	767,189	6.1	709,982	3.5	709,982	5.8	8.1	57,207					
ゴルフ場利用税交付金		15,573	0.1	15,573	0.1	21,591	0.1	21,591	0.2	△ 27.9	△ 6,018					
自動車・軽油交付金		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0					
自動車税環境性能割交付金		28,011	0.1	28,011	0.2	36,352	0.2	36,352	0.3	△ 22.9	△ 8,341					
法人事業税交付金		81,024	0.4	81,024	0.6	87,080	0.4	87,080	0.7	△ 7.0	△ 6,056					
地方特例交付金		23,663	0.1	23,663	0.2	133,116	0.7	133,116	1.1	△ 82.2	△ 109,453					
地方交付税		8,482,028	41.4	7,634,126	60.6	8,208,981	40.2	7,376,525	60.1	3.3	273,047					
普通		7,634,126	37.3	7,634,126	60.6	7,376,525	36.1	7,376,525	60.1	3.5	257,601					
特別		847,902	4.1	0	0.0	832,456	4.1	0	0.0	1.9	15,446					
小 計		13,422,537	65.5	12,574,635	99.9	13,094,292	64.2	12,261,836	99.9	2.5	328,245					
交通安全交付金		2,444	0.0	2,444	0.0	2,220	0.0	2,220	0.0	10.1	224					
分担金・負担金		155,186	0.8		0.0	138,872	0.7		0.0	11.7	16,314					
使用料		198,068	1.0		0.0	217,314	1.1		0.0	△ 8.9	△ 19,246					
手数料		81,286	0.4		0.0	85,935	0.4		0.0	△ 5.4	△ 4,649					
国庫支出金		2,307,893	11.3		0.0	2,558,519	12.5		0.0	△ 9.8	△ 250,626					
都道府県支出金		1,679,553	8.2		0.0	1,600,957	7.8		0.0	4.9	78,596					
財産収入		77,316	0.4	11,544	0.1	76,766	0.4	11,192	0.1	0.7	550					
寄附金		108,264	0.5		0.0	163,795	0.8		0.0	△ 33.9	△ 55,531					
繰入金		797,537	3.9		0.0	1,042,041	5.1		0.0	△ 23.5	△ 244,504					
繰越金		289,747	1.4		0.0	329,307	1.6		0.0	△ 12.0	△ 39,560					
諸収入		292,710	1.4	4,508	0.0	325,512	1.6	656	0.0	△ 10.1	△ 32,802					
地方債		1,069,000	5.2		(0.0)	777,000	3.8	(28,100)	(0.2)	37.6	292,000					
合 計		20,481,541	100.0	(12,593,131) 12,593,131		20,412,530		(12,304,004) 12,275,904		0.3	69,011					
市 町 村 税																
区 分		令和7年度			令和6年度		増減率 A/B	適用税率の状況								
		決 算 額 A	構成比	基準税額 *100/75	超過課税分 収入済分	決 算 額 B		構成比	個人	均等割	円 3,000					
市町村 民税	個人分	千円	%	千円	千円	千円	%	%		所得割	標準税率に 対する比率 1.0					
	法人分	1,143,516	30.9	1,139,217		1,021,622	28.5	11.9								
固定資産税 軽自動車税 市町村たばこ税 鉱 産 税 特別土地保有税 法定外普通税 旧法による税 目 的 税 入 湯 税 事業所税 都市計画税 水利地益税 共同施設税 宅地開発税		1,994,643	54.0	2,009,943		2,008,026	56.1	△ 0.7	市町村 民税	法人	均等割	円 3,000,000				
		135,865	3.7	139,336		132,934	3.7	2.2				1,750,000				
		196,957	5.3	198,120		201,547	5.6	△ 2.3				410,000				
			0.0	0			0.0					400,000				
			0.0	0			0.0					160,000				
			0.0	0			0.0					150,000				
		6,963	0.2	0		7,006	0.2	△ 0.6				6 /100				
		6,963	0.2	0		7,006	0.2	△ 0.6				固定資産税	1.4 /100			
			0.0	0			0.0					徴 収 率				
			0.0	0			0.0					区 分	現年課税分	滞納繰越分	合 計	
			0.0	0			0.0					市町村民税	% 99.2	% 17.2	% 97.0	
			0.0	0			0.0									
			0.0	0			0.0									
	合 計		3,695,233	100.0	3,670,013	0	3,579,751	100.0				3.2	固定資産税	99.3	14.9	96.7
	参 考	国民健康保険税	510,723	13.8			475,409	13.3				7.4	合 計	99.3	15.8	97.0
		国民健康保険料		0.0				0.0					国 保 税	97.3	21.7	89.0

注 1) 地方債の経常一般財源欄の()書きは、減税補てん債及び臨時財政対策債発行可能額を記載。
2) 経常一般財源欄の()書きは、減税補てん債及び臨時財政対策債発行可能額を含めた額を記載。

市 町 村 名		安芸高田市		類型		I - 1							
性 質 別 歳 出													
区 分		令和7年度					令和6年度					増減率	
		決算額		一般財源等	経常一般財源	経常収 支比率	決算額		一般財源等	経常一般財源	経常収 支比率	増減率	
		A	構成比				B	構成比					
		千円	%	千円	千円	%	千円	%	千円	千円	%	%	
人 件 費		3,971,911	20.0	3,573,188	3,464,489	(27.5) 27.5	3,764,242	18.9	3,406,887	3,278,971	(26.7) 26.6	5.5	
	うち職員給	2,334,846	11.8	2,109,416	2,076,862	(16.5) 16.5	2,242,786	11.3	2,013,078	1,959,706	(16.0) 15.9	4.1	
扶 助 費		3,104,470	15.7	887,647	792,024	(6.3) 6.3	3,332,013	16.7	1,271,621	838,744	(6.8) 6.8	△ 6.8	
公 債 費		2,455,057	12.4	2,452,175	2,452,175	(19.5) 19.5	2,438,694	12.3	2,431,075	2,431,075	(19.8) 19.8	0.7	
内 訳	元利償還金	2,452,857	12.4	2,449,975	2,449,975	(19.5) 19.5	2,437,874	12.3	2,430,255	2,430,255	(19.8) 19.8	0.6	
	一時借入金利息	2,200	0.0	2,200	2,200	(0.0) 0.0	820	0.0	820	820	(0.0) 0.0	168.3	
小 計		9,531,438	48.1	6,913,010	6,708,688	(53.3) 53.3	9,534,949	47.9	7,109,583	6,548,790	(53.3) 53.2	△ 0.0	
物 件 費		3,246,848	16.4	2,349,350	2,071,954	(16.5) 16.5	3,005,951	15.1	2,294,028	1,987,271	(16.2) 16.2	8.0	
維 持 補 修 費		613,811	3.1	391,145	373,710	(3.0) 3.0	622,792	3.1	433,763	425,415	(3.5) 3.5	△ 1.4	
補 助 費 等		2,763,819	14.0	2,258,628	1,221,024	(9.7) 9.7	2,916,050	14.7	2,442,298	1,240,775	(10.1) 10.1	△ 5.2	
繰 出 金		1,535,580	7.8	1,298,737	1,265,631	(10.1) 10.1	1,510,775	7.6	1,272,046	1,230,837	(10.0) 10.0	1.6	
投資及び出資金・貸付金		2,832	0.0	2,832	0	(0.0) 0.0	2,508	0.0	1,843	0	(0.0) 0.0	12.9	
積 立 金		424,065	2.1	142,517	0	(92.4) 92.4	535,258	2.7	192,336	0	(93.1) 92.9	△ 20.8	
前年度繰上充用金			0.0		充当経常一般財源 L			0.0		充当経常一般財源 L			
投 資 的 経 費		1,692,134	8.5	223,133	11,641,007 千円		1,764,500	8.9	235,930	11,433,088 千円		△ 4.1	
	うち人件費	642	0.0	362	「一般財源等」		657	0.0	0	「一般財源等」		△ 2.3	
	普通建設事業費	1,532,466	7.7	211,505	歳入総額		1,339,595	6.7	220,286	歳入総額		14.4	
うち	補助	565,084	2.9	15,072	14,250,366 千円		491,841	2.5	55,576	14,501,574 千円		14.9	
	単独	861,895	4.4	172,718			783,485	3.9	154,487			10.0	
	災害復旧事業費	159,668	0.8	11,628	歳入経常一般財源		424,905	2.2	15,644	歳入経常一般財源		△ 62.4	
	失業対策事業費		0.0		12,593,131 減税、臨財債除			0.0		12,275,904 減税、臨財債除			
合 計		19,810,527	100.0	13,579,352	歳入経常一般財源 12,593,131 減税、臨財債含		19,892,783	100.0	13,981,827	歳入経常一般財源 12,304,004 減税、臨財債含		△ 0.4	
目 的 別 歳 出												備 考	
区 分		令和7年度			令和6年度			増減率					
		決算額		一般財源等	決算額		一般財源等	増減率					
		A	構成比		B	構成比							
		千円	%	千円	千円	%	千円	%					
議 会 費		167,721	0.8	167,692	159,624	0.8	159,622	5.1					
総 務 費		3,145,613	15.9	2,296,485	3,132,755	15.7	2,252,130	0.4					
民 生 費		6,141,022	31.0	3,277,369	6,178,778	31.1	3,557,734	△ 0.6					
衛 生 費		1,747,010	8.8	1,469,453	1,784,807	9.0	1,465,038	△ 2.1					
労 働 費		21,279	0.1	21,279	21,279	0.1	21,279	0.0					
農 林 水 産 業 費		1,105,091	5.6	704,388	1,229,435	6.2	837,862	△ 10.1					
商 工 費		456,678	2.3	369,392	408,030	2.1	329,661	11.9					
土 木 費		1,404,078	7.1	792,967	1,526,725	7.7	928,732	△ 8.0					
消 防 費		1,012,052	5.1	650,554	718,606	3.6	627,561	40.8					
教 育 費		1,995,258	10.1	1,365,970	1,869,145	9.4	1,355,489	6.7					
災 害 復 旧 費		159,668	0.8	11,628	424,905	2.1	15,644	△ 62.4					
公 債 費		2,455,057	12.4	2,452,175	2,438,694	12.3	2,431,075	0.7					
諸 支 出 金			0.0			0.0		0.0					
前年度繰上充用金			0.0			0.0		0.0					
合 計		19,810,527	100.0	13,579,352	19,892,783	100.0	13,981,827	△ 0.4					

注 1) 経常収支比率欄の（ ）書きは、減税補てん債及び臨時財政対策債発行可能額を経常一般財源から除いた数値を記載。

類似市等の普通会計財政状況(令和7年度決算数値)

(単位:千円)

区 分		安芸高田市	大竹市	竹原市	江田島市	三次市	庄原市
住基登録人口(R8.1.1現在)		25,401人	25,017人	22,075人	20,181人	47,223人	30,404人
面 積		537.71km ²	78.66km ²	118.23km ²	100.65km ²	778.18km ²	1,246.49km ²
決算 総括	歳入総額	20,481,541	18,721,409	16,159,165	16,538,635	42,228,048	32,486,964
	歳出総額	19,810,527	18,629,876	15,324,263	15,909,878	40,323,023	31,959,103
	差引額	671,014	91,533	834,902	628,757	1,905,025	527,861
	翌年度繰越財源	93,420	67,728	78,915	135,328	987,624	160,120
	実質収支	577,594	23,805	755,987	493,429	917,401	367,741
	単年度収支	119,374	△ 158,707	378,557	285,333	116,751	△ 72,771
	財調基金積立金	4,473	4,169	26,662	122,737	591,460	5,522
	繰上償還(任意分)	-	-	-	-	425,475	-
	財政調整基金取崩額	120,452	-	230,000	-	-	650,000
	実質単年度収支	3,395	△ 154,538	175,219	408,070	1,133,686	△ 717,249
財政 指標	基準財政収入額	3,874,072	4,885,379	4,269,990	2,611,013	7,212,611	4,572,349
	基準財政需要額	11,499,362	6,934,685	7,098,901	8,550,202	21,085,507	17,281,081
	標準財政規模	12,491,566	8,325,357	8,307,686	9,217,396	22,877,353	18,366,041
	(うち臨時財政対策債発行可能額)	-	-	-	-	-	-
	財政力指数	0.339	0.71	0.65	0.31	0.343	0.26
	実質収支比率	4.6%	0.3%	9.1%	5.4%	4.0%	2.0%
	経常収支比率	92.4%	98.7%	97.8%	96.9%	95.0%	98.1%
	実質公債費比率	9.1%	11.9%	9.2%	8.1%	6.5%	11.1%
基金	自主財源比率	27.8%	50.8%	40.1%	27.3%	28.4%	21.0%
	基金残高	7,227,182	9,013,789	4,284,985	9,916,383	17,539,955	7,360,620
	うち財政調整基金	1,254,197	1,390,072	2,344,146	4,979,037	3,843,052	4,114,705
	うち減債基金	516,946	989,363	455,201	1,105,953	122,499	95,705
地方債	地方債現在高	17,244,756	21,861,771	18,320,224	15,813,232	42,234,205	33,984,769
	地方債残高比率	138.1%	262.6%	220.5%	171.6%	184.6%	185.0%
主な 歳入	地方税	3,695,233	5,536,235	4,673,140	2,627,468	7,237,820	3,876,341
	普通交付税	7,634,126	2,058,849	2,834,592	5,939,189	13,872,896	12,756,609
	特別交付税	847,902	452,954	586,510	826,452	2,404,183	2,042,325
	繰入金	797,537	590,972	400,943	366,927	1,468,403	1,361,005
	地方債	1,069,000	1,799,600	1,727,500	1,233,500	3,757,500	3,388,700
主な 歳出	人件費	3,971,911	3,111,184	2,831,549	3,713,317	5,662,118	4,356,247
	うち職員給与	2,334,846	1,894,152	1,509,428	2,278,764	3,627,341	2,789,722
	普通会計職員数	338人	270人	216人	316人	464人	408人
	扶助費	3,104,470	2,864,419	2,589,907	1,755,601	5,646,139	4,216,884
	公債費	2,455,057	1,840,825	1,423,887	1,918,855	5,472,625	4,398,625
	物件費	3,246,848	2,997,780	2,233,619	2,390,480	5,389,912	4,606,782
	維持補修費	613,811	196,685	175,805	346,916	837,107	627,385
	補助費等	2,763,819	1,340,587	1,885,132	1,606,651	7,334,293	5,374,509
	繰出金	1,535,580	1,549,075	1,408,051	1,541,739	2,485,644	2,119,696
	普通建設事業費	1,532,466	3,092,355	2,361,497	2,132,803	4,272,937	4,470,718

安芸高田市と人口類似市：大竹市(単独市制)

：竹原市(単独市制)

：江田島市(平成16年11月1日合併)

安芸高田市の近隣市

：三次市(平成16年4月1日合併)

：庄原市(平成17年3月31日合併)

主 な 財 政 用 語

決算に関するもの

決 算

一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績について作成される、確定的な計数表をいう。決算は会計年度終了後において作成され、監査委員の審査に付した後、議会の認定を受ける。決算により歳入歳出予算に対する実際の収支状況が明らかにされ、予算の適正な執行の有無が確認される。

形式収支

形式収支は、出納閉鎖期日における当該年度中に収入された現金と支出された現金の差額を表示したもの。

＊形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

翌年度繰越財源

歳入歳出差引額のうち明許繰越等、翌年度に繰り越された事業に充当しなければならない一般財源をいう。

実質収支

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた差額を形式収支という。形式収支からさらに、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたものを実質収支という。市町村の決算において、実質収支が赤字であるか黒字であるかは、財政状況を判断する重要な基準となる。

単年度収支

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額で、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。

＊単年度収支＝

当該年度の実質収支－前年度の実質収支

区 分	前年度の実質収支が黒字	前年度の実質収支が赤字
単年度収支が黒字	新たな剰余が生じた	過去の赤字の解消
〃 赤字	過去の剰余金に依存	赤字額の増加

実質単年度収支

単年度収支に当該年度に措置された黒字要素（財政調整基金積立金、繰上償還）又は赤字要素（積立金取崩し）を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようなものか検証するもの。

＊実質単年度収支＝

単年度収支＋財政調整基金積立額＋
地方債繰上償還額－財政調整基金取崩額

実質収支比率

実質収支の額の適否を判断する指標であり、標準財政規模に対する実質収支額の割合で示されます。実質収支が黒字の場合は正の数、赤字の場合は負の数で表される。一般的には 3%～5% 程度が望ましいとされている。

＊実質収支比率＝実質収支額÷標準財政規模×100

基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入、譲与税、交付金等を一定の方法により算出した額。

基準財政需要額

普通交付税の算定の基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算出した額。

標準財政規模

地方公共団体の一般財源の標準財政規模を示す数値。

＊標準財政規模＝（基準財政収入額－地方譲与税－交通安全対策特別交付金－税源移譲相当額の25％）×100÷75＋地方譲与税＋交通安全対策特別交付金＋普通交付税＋臨時財政対策債発行可能額
《参考》

普通交付税	地方譲与 税・交通 安全対策 特別交付 金等	標準税収入額	
		地方税(交付金を含む)	
		市町村 75%分	市町村 25%分
		← 基準財政収入額 →	
← 基準		財政需要額 →	
← 標準		財政規模 →	

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標として用いられ、1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があるといえる。

経常収支比率

各市町村の財政構造の弾力性を測定する比率で、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常的な収入（一般財源）がどの程度充当されているかを見ることで、その自治体の財政構造の弾力性を判断するための指標として用いられている。一般的判断として、都市は75%、町村では70%程度が妥当とされており、それぞれ90%を超える団体は、その原因を究明し、経常経費の抑制に留意しなければならない。

実質公債費比率

地方債元利償還金（繰上償還等を除く）や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額から、これに充当された一般財源のうち地方交付税が措置されたものを除いたものが、標準財政規模及び臨時財政対策債発行可能額の合計額（地方交付税措置分を除く）に対してどの程度の割合になっているかをみるもの。起債に協議を要する団体と許可を要する団体の判定に用いられるものである。

り、この比率が18%以上の団体は起債に当たり許可が必要になり、25%以上の団体については、一定の地方債の起債が制限され、35%以上の団体については、さらにその制限の度合いが高まる。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律において、健全化判断比率の一つとして位置付けられており、早期健全化基準は25%、財政再生基準は35%とされている。

歳入に関するもの

一般財源

使途が指定されていない収入をいう。市町村の予算では、一般的に、市町村税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、繰越金、財政調整基金繰入金等をいう。また、近年の地方財政には、地方債（臨時財政対策債、減収補てん債）にも一般財源がある。

一方、国庫支出金、地方債等使途が指定されている収入は特定財源という。

基金

一般に、市町村が条例の定めにより、特定の目的のために、積み立てた資金をいう。基金には、特定の目的のために設置されるものと、特定の目的のために定額を運用するものがある。

市町村税

市町村が課税徴収する税金をいう。

地方譲与税

徴収の利便性などの問題から、一旦国税として徴収されその後、市町村に譲与される税をいう。自動車重量譲与税や地方揮発油譲与税などがある。

自動車重量譲与税

自動車重量税は、自動車の重量に応じて、庫出し又は車検時に課税される。この収入額の3分の1(当分の間は1000分の407)が市町村に譲与される。算定方法は、市町村道の延長が2分の1、面積が2分の1に按分された額となっている。

地方揮発油譲与税

地方揮発油税が国により徴収され、市町村に配分される。配分額は徴収金の100分の42が市町村に譲与される。算定方法は、市町村道の延長が2分の1、面積が2分の1に按分された額となっている。

森林環境譲与税

国内に住所を有する個人に対して課税される森林環境譲与税(国税)の収入額に相当する額の10分の9を、客観的な譲与基準(私有林人工林面積55%、林業就業者数20%、人口25%)により、市町村等に譲与される。

利子割交付金

県に納付された県民税利子割のうち個人に対する部分の59.4%が市町村に交付される。交付額はその市町村の個人の県民税の額を基準に配分される。

配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金

県に納付された県民税配当割、県民税株式等譲渡割の59.4%が市町村に交付される。交付額はその市町村の個人の県民税の額を基準に配分される。

地方消費税交付金

一般的に標準税率10%の消費税は、消費税(国税)の7.8%分と地方消費税(都道府県税)の2.2%分を合計したものを、軽減税率8%の消費税は、消費税(国税)の6.24%分と地方消費税(都道府県税)の1.76%分を合計したものを指している。

地方消費税(都道府県税)の税収の2分の1は、県が人口及び従業者数で按分し、市町村に交付される。

ゴルフ場利用税交付金

県に納付されたゴルフ場利用税の70%が、ゴルフ場所在の市町村に交付される。

自動車取得税交付金

県に納付された自動車取得税の66.5%が市町村に交付される。交付額は、市町村道の延長や面積を基準として配分される。
(令和元年9月まで)

環境性能割交付金

県に納付された環境性能割に95%を乗じて得た額の100分の47(令和4年度からは100分の43)に相当する額が市町村に交付される。交付額は、市町村道の延長や面積を基準として配分される。
(令和8年3月31日まで)

法人事業税交付金

県に納付された法人事業税の7.7%を、従業員数(令和3年度は2/3法人税割額、1/3従業員数割)で按分し、市町村に交付される。

地方特例交付金

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う地方公共団体の減収を補填するため、各地方公共団体の住宅借入金等特別税額控除見込額を基礎として算定された額となっている。

なお、令和8年度以降は、地方揮発油税の暫定税率廃止に伴う地方揮発油譲与税の減収や自動車税環境性能割及び軽自動車税環境性能割の廃止に伴う減収を補填するため、それぞれ減収見込額を基礎として算定された額も追加交付される。

地方交付税

市町村によって生じている税収入の格差を是正し、一定の行政水準を保つために国から交付される交付金をいう。所得税、法人税、酒税、消費税が原資となっている。

交付税には、市町村が標準的な行政を行う財源を保障するために交付される「普通交付税」と各市町村の特殊事情によって生じた財政需要を補うための「特別交付税」がある。

交通安全対策特別交付金

市町村が道路交通安全施設の整備を行なう経費にあてるため、交通反則金を市町村の交通事故発生件数等を基準に配分し交付される。

分担金及び負担金

市町村が一部や特定の者に対し特に利益のある事務事業を行なう場合に、その必要な費用に充てるため、利益を受ける者から徴収するお金をいう。

一方、負担金も一定の事務事業について特別の利害関係がある人から、その事業に必要な経費を、受益の受ける程度に応じて市町村が課する金銭的な給付を言い、両者はよく似た性格をもっている。

使用料及び手数料

使用料は、市町村が所有し又は管理している施設を利用する時に、市町村に納付されるお金をいう。また、納付された使用料はその施設を維持、管理するための経費の財源となる。

手数料は、市町村が特定の人のために行なう行政サービスの対価として市町村に納付されるお金をいう。納付された手数料はその行政サービスを行なうための経費の財源となる。

使用料も手数料も、市町村が徴収するためには、法令や条例に定める必要がある。

国庫支出金・県支出金

市町村が行なう事務事業に、何らかの必要性に基づいて、国（県）が経費の一部又は全部として市町村に給付される収入をいう。また、その性格により、負担金、補助金、委託金に区分される。

財産収入

市町村が所有する財産等を貸し付ける事によって生じる対価や基金の運用利息等の財産運用収入と、市町村の財産を譲渡すること等により生じる財産売却収入がある。

寄附金

市町村に対する金銭の無償譲渡のことをいう。寄附金の使途を指定しない一般寄附金と使途を指定した指定寄附金がある。

繰入金

一般会計、特別会計、企業会計、基金の間において相互に資金運用の方法として、各会計等の経理する資金を他の会計で受け入れるときの収入をいう。

繰越金

前年度の決算で生じた余剰金を、次年度の歳入に編入するときの収入をいう。

諸収入

地方債のほか、前記した歳入に区分された以外の収入を計上する科目。普通預金の利子や貸付金に対する償還金等様々な諸収入がある。

地方債

市町村が社会資本の整備等を行なうために必要な財源を調達するための債務のことをいう。また、近年は国や地方公共団体の財源不足や、減税による財源の減少を補てんするために地方債を発行することもある。

歳出に関するもの

目的別歳出予算

市町村の歳出予算を、行政目的によって分類したもの。目的別予算では、市町村の各部局の大まかな予算の比重を知ることができる。また、予算を議会において審議する場合等に大きな意義がある。

議会費

議会の活動に必要とする経費が計上されている。主としては議員の報酬や議会や委員会の運営経費など。

総務費

全般的な管理事務に関する経費、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費のほか、電算処理に関する経費、市町村税の賦課・戸籍住民基本台帳・選挙・統計調査に要する経費等が計上されている。

民生費

安定した社会生活をするために必要な経費。社会福祉、障害者福祉、高齢者、児童福祉等の経費が計上されている。

衛生費

健康にして衛生的な生活環境を保持するための経費。保健事業に関する経費、環境対策に関する経費等が計上されている。

農林水産業費

農業、林業、水産業の振興に要する経費や治山事業を行なうための経費が計上されている。

商工費

市町村の観光PRや観光イベント、商店街の活性化等の経費のほか、商工業の振興に関する経費が計上されている。

土木費

市町村道改良や河川の整備や維持管理、公営住宅の建設、維持のための経費のほか、都市計画に関する経費、下水道事業特別会計への繰出金等が計上されている。

消防費

常備消防及び消防団の活動に関する経費や消防車、防火水槽等防火施設の整備などのほか、地域の防災のための経費が計上されている。

教育費

教育委員会、幼稚園、小中学校等、教育に関する経費が計上されている。また、社会教育費には、生涯学習活動に要する経費のほか、運動公園、博物館の管理運営経費等が計上されている。

災害復旧費

災害によって生じた被害を復旧するために要する経費が計上されている。道路等の公共土木施設、農地や山林等の農林水産業施設に対する復旧費が主である。

公債費

借り入れた地方債や一時借入金の元金や利子などの償還金が計上されている。

予備費

災害等予算外の緊急な支出や予算超過の支出に充てるために設ける科目。通常は議会を招集して補正予算を編成するので、多額な予備費を充当して支出することはあまりない。

性質別経費

市町村の経費を、その経済的性質を基準として分類したもの。性質別に分類することは、市町村の財政の体質を分析するうえで意義がある。分析の結果から財政運営の指針を見つけ出すことができる。

義務的経費

市町村の歳出のうち、その支出が義務づけられている経費をいう。一般的には、人件費、扶助費、公債費の三つの科目をいう。広い意味では、物件費、維持補修費、補助費も加えられる。

投資的経費

その支出の効果が資本の形成に向けられ、施設等が将来に残るものに対して支出される経費(普通建設事業費、災害復旧事業費)をいう。

人件費

市町村の職員の給料や社会保険料のほか、報酬として支払われる一切の経費をいう。ただし、道路の整備事業等の普通建設事業に携わる職員の人件費については、普通建設事業費に区分される。

物件費

人件費、扶助費、補助費、普通建設事業費等以外の経費の総称をいう。具体的な例をあげると、賃金、旅費、需用費(消耗品、食糧費等)、役務費(通信運搬費、手数料等)、備品購入費、使用料、委託料等がある。

維持補修費

市町村が管理する公共施設(道路等)の効用を保全するための経費。建物の大規模な改修等は普通建設事業費に区分される。

扶助費

市町村が各種の法令（老人福祉法等）や条例によって、お金や物品を被扶助者に提供する経費をいう。

補助費等

補助費に区分される経費は、その支出の目的、根拠、対象等によって多種多様である。主な経費としては、報奨金、謝礼金、負担金、補助金などがある。

普通建設事業費

道路、橋りょう、河川等の公共土木関係施設や消防施設、学校等の文教施設、公民館、公営住宅等の公共用施設の新設、増設、改良事業や不動産取得等の投資的な事業費をいう。

災害復旧事業費

風雨、地震等その他の災害を受けた施設を原形に復旧するための事業費をいう。

公債費

市町村が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金の償還利子をいう。

積立金

基金等に積み立てる経費をいう。

投資及び出資金

財団法人などに対する出捐金や公営企業の資本を整備するための出資的な繰出金などがある。

繰出金

一般会計と特別会計、又は特別会計間相互において支出される経費をいう。